



令和5年度 町民意識調査報告書

令和6年3月

松川町 まちづくり政策課 企画調整係

I 調査の設計

1. 調査の目的 令和7年度を始期とする次期総合計画を策定するにあたり、町の政策の方向性・企画立案のための重要な基礎資料として活用することを目的とする。
2. 調査対象 松川町に町民登録があり、
令和5年11月1日時点で満18歳以上の町民2,500人
3. 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
※町内を8地区に分割し、令和5年11月1日時点の各地区の人口（母集団）の大きさに応じて標本数（2,500）を配分した上で無作為抽出しています。
4. 調査方法 ①配布：郵送
②回収：郵送・窓口・インターネット
5. 調査期間 令和5年12月8日（金）～令和5年12月31日（日）
6. 回収結果 有効回答数 1,033件（回収率41.3%）
回収内訳 郵送 692件（67.0%）
ネット回答 341件（33.0%）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。
対象者が少ない回答は参考値である。

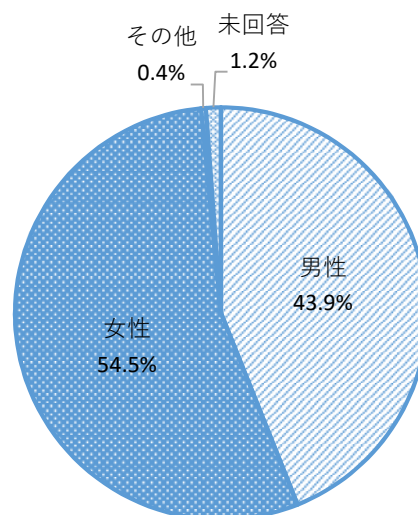
II 調査結果の概要

あなたご自身やご家族のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。

回答者の性別は、「男性」(43.9%)、「女性」(54.5%) だった。

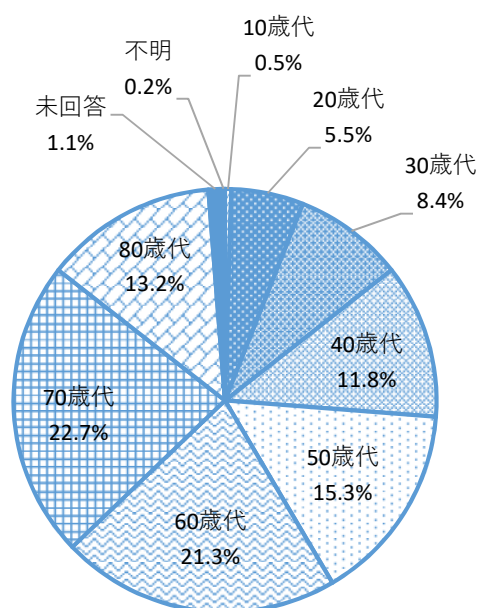
	度数	割合
男性	454	43.9%
女性	563	54.5%
その他	4	0.4%
未回答	12	1.2%
不明	0	0.0%
合計	1033	100.0%



問2 あなたの年齢を教えてください。

回答者の年代は、「70歳代」(22.7%) が最も多く、次いで「60歳代」(21.3%)、「50歳代」(15.3%) の順となった。

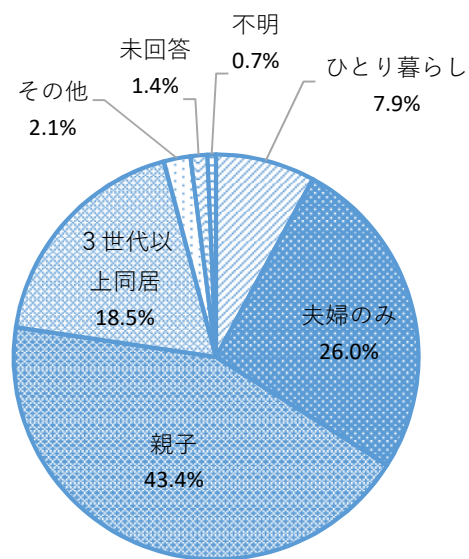
	度数	割合
10歳代	5	0.5%
20歳代	57	5.5%
30歳代	87	8.4%
40歳代	122	11.8%
50歳代	158	15.3%
60歳代	220	21.3%
70歳代	235	22.7%
80歳代	136	13.2%
未回答	11	1.1%
不明	2	0.2%
合計	1033	100.0%



問3 あなたの家族構成を教えてください。

回答者の家族構成は、「親子」(43.4%) が最も多く、次いで「夫婦のみ」(26.0%)、「3世代以上同居」(18.5%) の順となった。

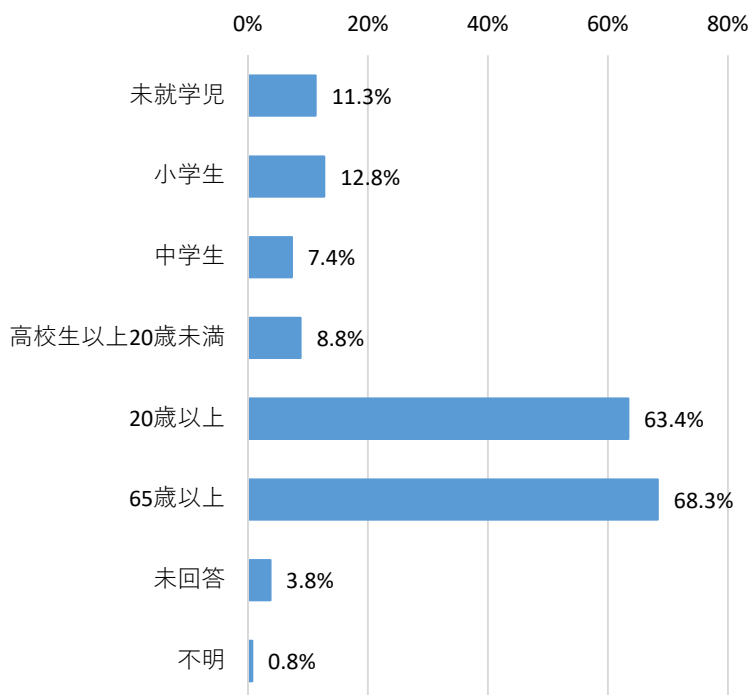
	度数	割合
ひとり暮らし	82	7.9%
夫婦のみ	269	26.0%
親子	448	43.4%
3世代以上同居	191	18.5%
その他	22	2.1%
未回答	14	1.4%
不明	7	0.7%
合計	1033	100.0%



問4 あなた自身も含めて、あなたの世帯で、次にあてはまる方の人数を教えてください。

回答者の世帯人数は、「65歳以上」(68.3%)が最も多く、次いで「20歳以上」(63.4%)、「小学生」(12.8%)の順となった。

	度数	割合
未就学児	117	11.3%
小学生	132	12.8%
中学生	76	7.4%
高校生以上20歳未満	91	8.8%
20歳以上	655	63.4%
65歳以上	706	68.3%
未回答	39	3.8%
不明	8	0.8%
回答者数	1033	

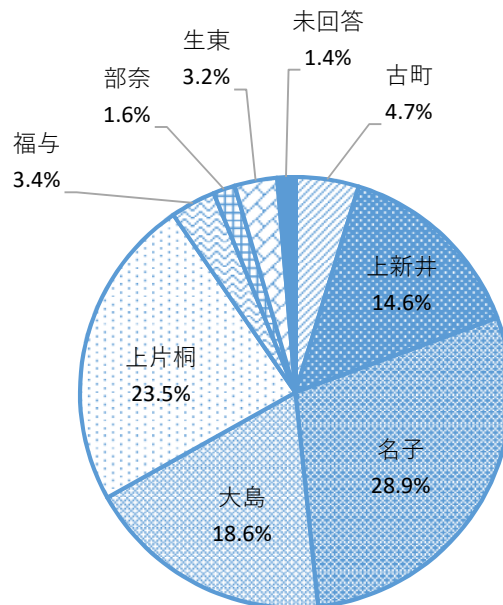


人数	未就学児	小学生	中学生	高校生以上 20歳未満	20歳以上	65歳以上
1人	64	80	71	77	186	242
2人	46	47	5	13	303	402
3人	7	5	0	1	99	37
4人	0	0	0	0	57	5
5人	0	0	0	0	7	0
6人	0	0	0	0	1	0

問5 お住まいの地区はどちらですか。

回答者のお住まいの地区は、「名子」(28.9%)が最も多く、次いで「上片桐」(23.5%)、「大島」(18.6%)の順となった。

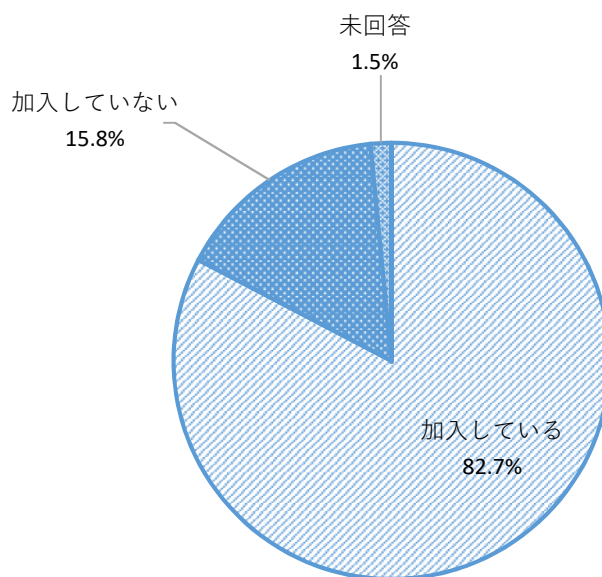
	度数	割合
古町	49	4.7%
上新井	151	14.6%
名子	299	28.9%
大島	192	18.6%
上片桐	243	23.5%
福与	35	3.4%
部奈	17	1.6%
生東	33	3.2%
未回答	14	1.4%
不明	0	0.0%
合計	1033	99.9%



問6 自治会に加入していますか。

自治会に加入しているか伺ったところ、「加入している」(82.7%)、「加入していない」(15.8%)だった。

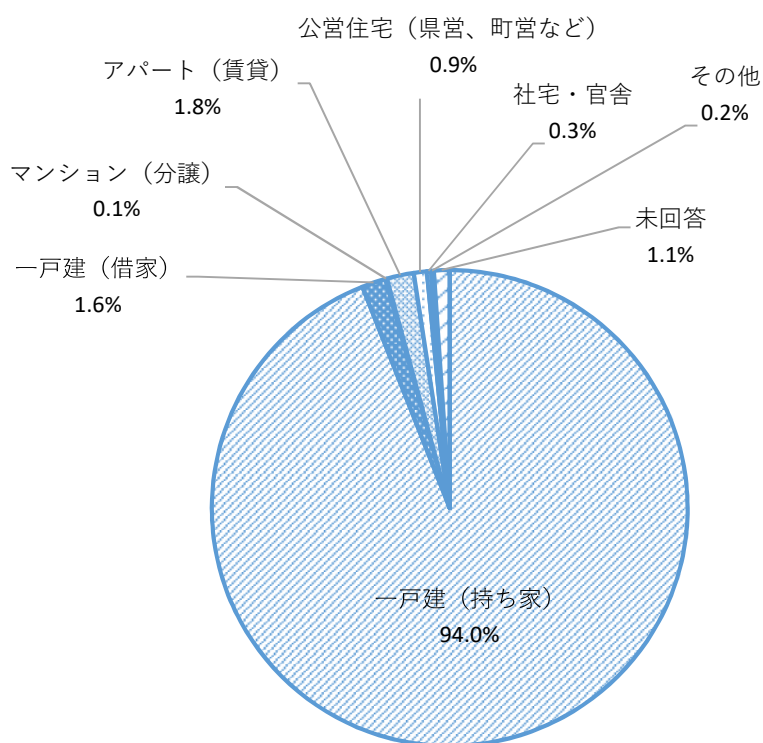
	度数	割合
加入している	854	82.7%
加入していない	163	15.8%
未回答	16	1.5%
不明	0	0.0%
合計	1033	100.0%



問7 あなたの現在のお住まいに当てはまるものを教えてください。

回答者の現在のお住まいは、「一戸建て（持ち家）」が最も多く、94.0%を占める結果となった。

	度数	割合
一戸建（持ち家）	971	94.0%
一戸建（借家）	17	1.6%
マンション（分譲）	1	0.1%
アパート（賃貸）	19	1.8%
公営住宅（県営、町営など）	9	0.9%
社宅・官舎	3	0.3%
その他	2	0.2%
未回答	11	1.1%
不明	0	0.0%
合計	1033	100.0%

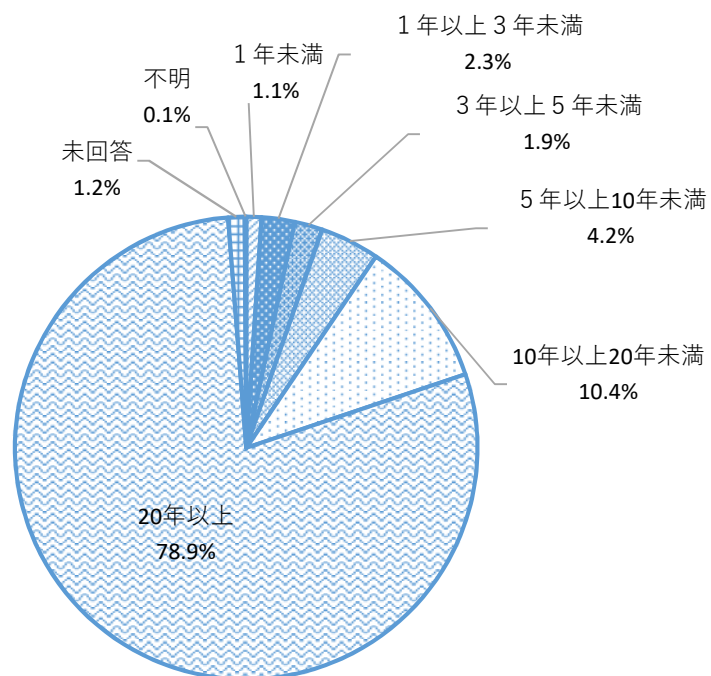


問8 あなたは松川町にお住まいになってどのくらいになりますか。

途中で松川町以外にお住まいになっていた場合は、現在までの合計年数を教えてください。

松川町にお住まいになってどのくらいか伺ったところ、「20年以上」(78.9%)が最も多く、次いで「10年以上20年未満」(10.4%)、「5年以上10年未満」(4.2%)の順となった。

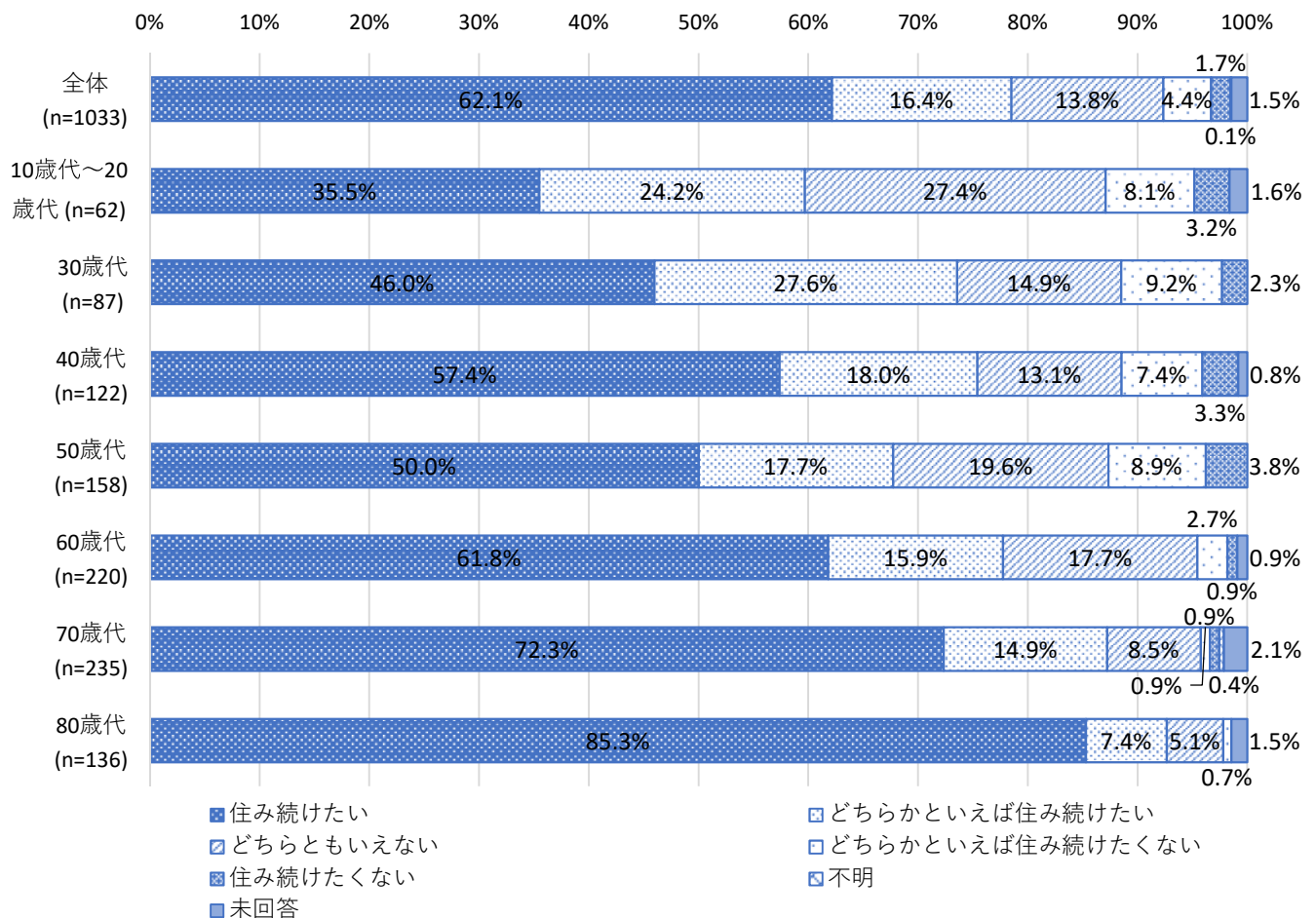
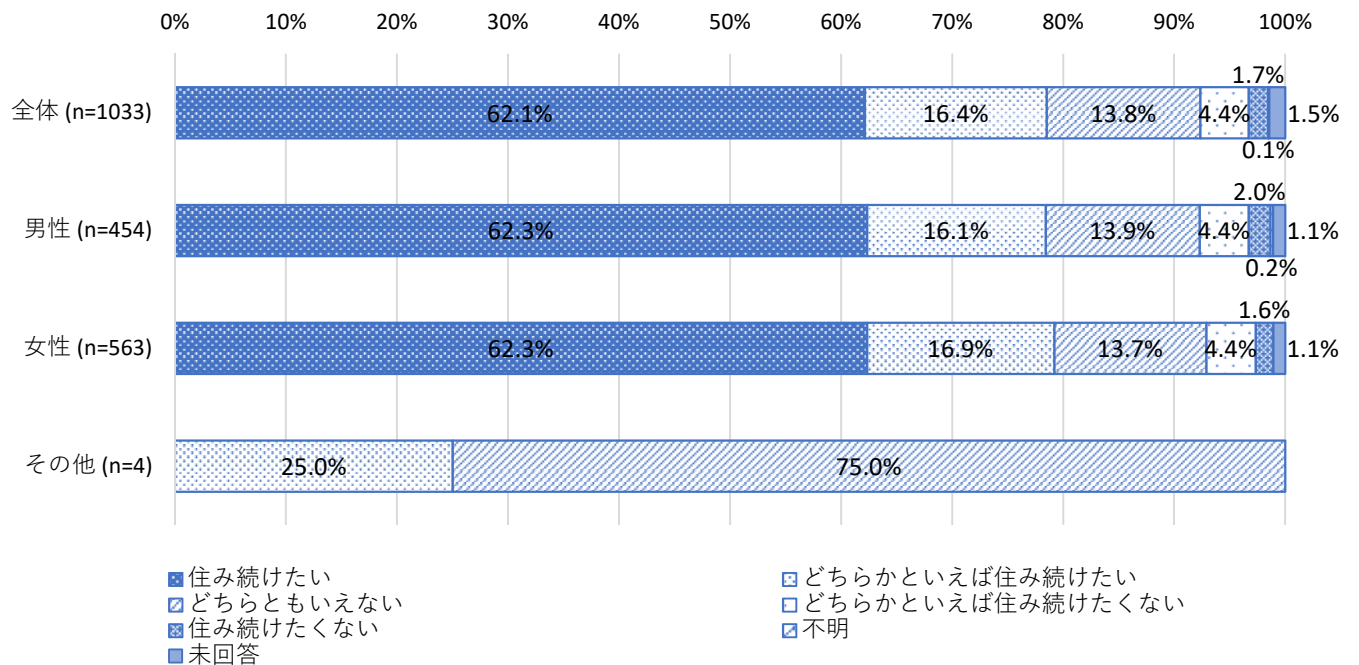
	度数	割合
1年未満	11	1.1%
1年以上3年未満	24	2.3%
3年以上5年未満	20	1.9%
5年以上10年未満	43	4.2%
10年以上20年未満	107	10.4%
20年以上	815	78.9%
未回答	12	1.2%
不明	1	0.1%
合計	1033	100.1%



問9 あなたは、これからも松川町に住み続けたいと思いますか。

全体ではこれからも松川に「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた78.5%が住み続けたいと回答した。

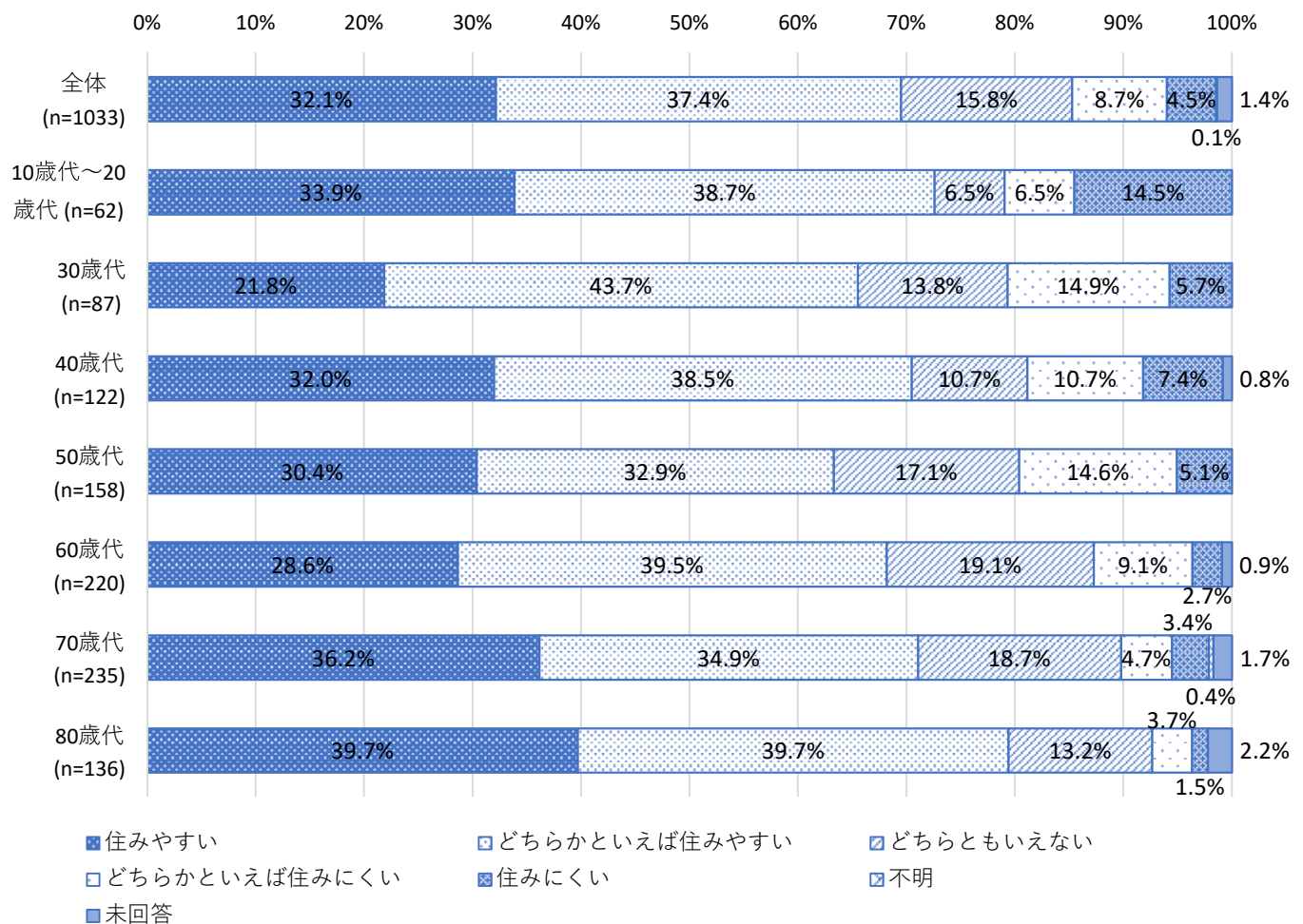
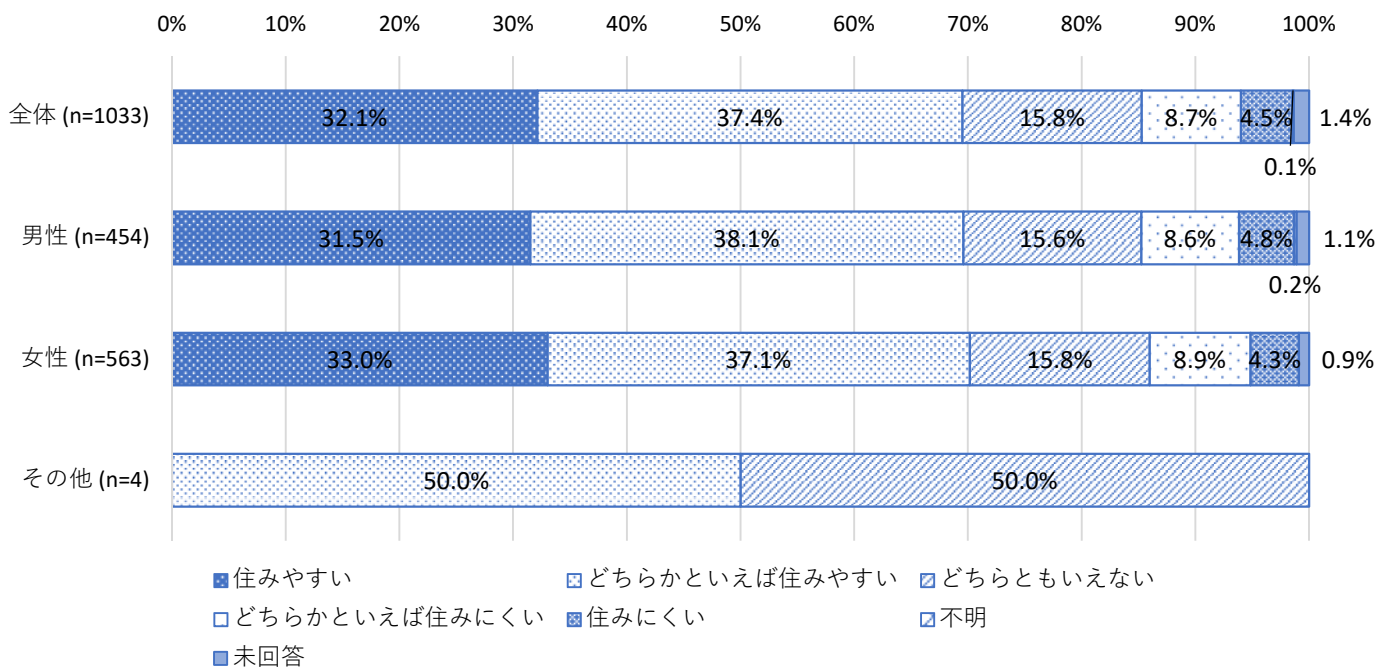
男女別は、全体と同じ傾向であり、年代別では年代が上がるにつれて、「住み続けたい」と回答した割合が高くなる傾向にある。



問 10 あなたは、松川町の「住み心地」についてどう感じていますか。

全体では「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた 69.5%が住みやすいと回答した。

男女別では、全体と同じ傾向であり、年代別も同様の傾向にあることから、松川町は性別や世代をこえて、「住みやすさ」が感じられる町であるという傾向にある。



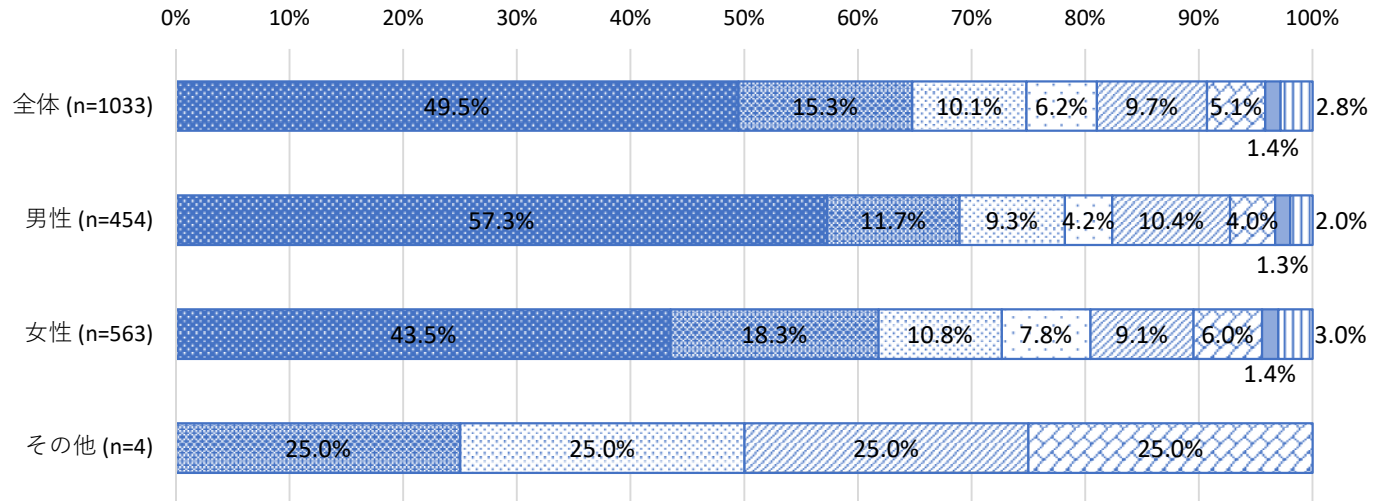
問 11 あなたは、まちづくり活動や地域活動への住民参加についてどう思われますか。

まちづくり活動や地域活動とは、自治会活動・地域行事・防災活動などを言います。

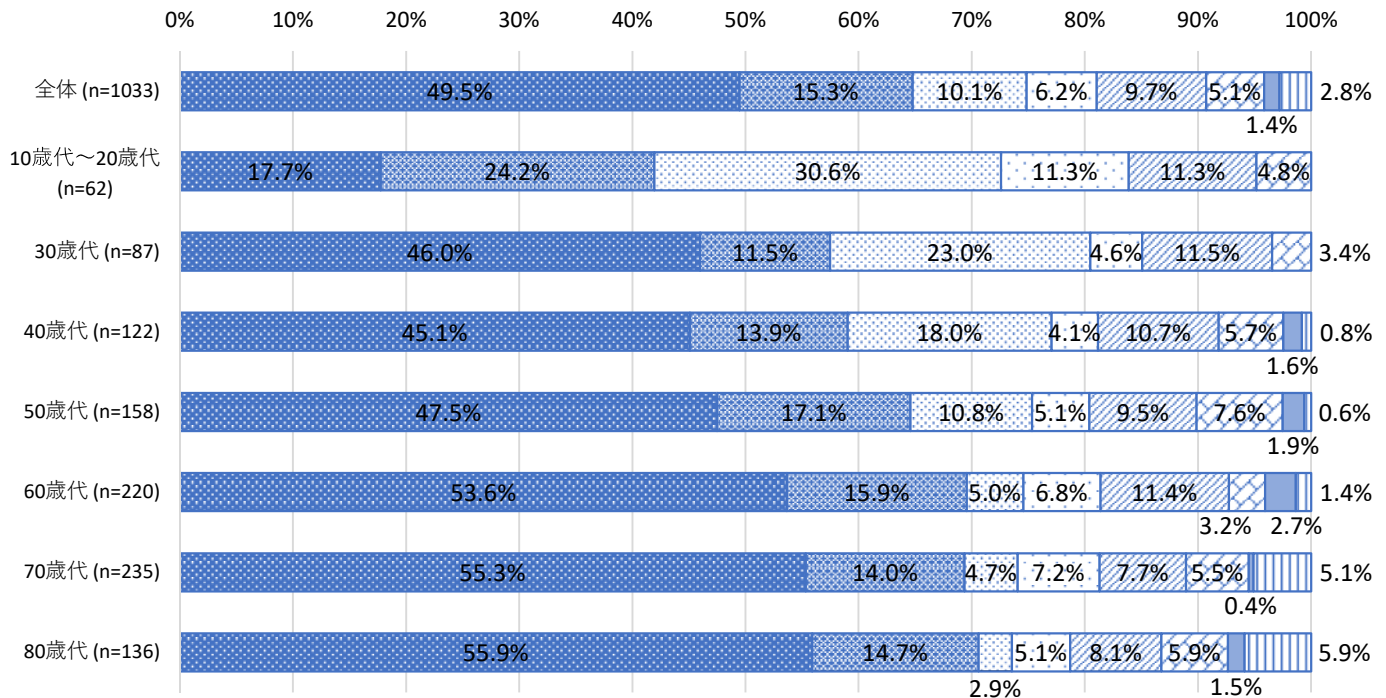
全体では、約半数がまちづくり活動や地域活動へ参加していると回答している。

男女別では、男性 57.3%、女性 43.5%で男性の参加が多くなっている。

年代別は、年代が上がるにつれてまちづくり活動、地域活動への参加率が高くなる傾向にある。



- 住民の参加は大切で、自分も可能な範囲で参加している。
- 住民の参加には関心があるが、参加する場や機会がない。
- まちづくりは区、自治会組織や議員に任せたい。
- まちづくりは行政が責任をもって
- その他
- 不明
- 未回答



- 住民の参加は大切で、自分も可能な範囲で参加している。
- 住民の参加には関心があるが、参加する場や機会がない。
- まちづくりは区、自治会組織や議員に任せたい。
- まちづくりは行政が責任をもって
- その他
- 不明
- 未回答

地域幸福度（Well-Being）指標について

- 幸福度について（問 12～16）
- 生活環境について（問 17）
- 地域の間人関係について（問 18）
- 自分らしい生き方について（問 19）

これらの設問は、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが作成・開発した、「地域幸福度指標」の測定のための設問です。

地域幸福度は、Well-Being（ウェルビーイング）とも言います。

▷ 地域幸福度（Well-Being）とは

地域幸福度（Well-Being）とは、「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」を言い、1946年、世界保健機関（WHO）設立の際に考案された憲章の中で初めて言及されたものです。

「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（Well-being）にあることをいいます。」（日本 WHO 協会：訳）

▷ 地域幸福度（Well-Being）指標とは

地域全体や町民の「暮らしやすさ」や「幸福感」といった感覚的な概念を可視化するための指標です。

この指標は、デジタル庁などが進める「デジタル田園都市国家構想」により実現を目指す「心ゆたかな暮らし」と「持続可能な環境・社会・経済」を可視化するため、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが開発したものであり、地域固有の実態を把握できるように基礎自治体単位での測定が可能です。

町民の幸福感を高めるまちづくりの指標として、全国各地域において活用が広がってきています。

▷ 地域幸福度（Well-Being）指標の構成概要について

- 地域幸福度指標は、
 - ・ 地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問
 - ・ 24のカテゴリーから成る3つの要素（“生活環境、“地域の間人関係、“自分らしい生き方”）から構成されます。
- さらに、24のカテゴリー毎に、主観指標と客観指標が設定されています。

客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、町民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を指標で数値化・可視化します。それぞれの指標は偏差値化されています。

 - ＜客観指標＞…統計値など、客観的に測定できるデータ
 - ＜主観指標＞…町民の主観によるアンケートデータ
- 主観指標を図るアンケート設問は、全国標準化された項目であり、今回のアンケートでは問 12～問 19の8問51項目の部分です。



(一般社団法人スマートシティ・インスティテュート ホームページより引用)

▷ 松川町における活用

松川町においては、初の試みとして、地域幸福度 (Well-Being) 指標を総合計画の策定へ活用します。総合計画によって目指すゴールは、町民の「暮らしやすさ」や「幸福度」を高めていくことであると考えており、地域幸福度 (Well-Being) 指標を活用することで、松川町ならではの特性を可視化・把握し、策定に向けた基礎とします。

▷ 松川町の地域幸福度 (Well-Being) 指標概要

- 地域幸福度 (Well-Being) 指標は、WEB 上で公開されており、どなたでも閲覧可能です。指標は全国共通のため、指標を活用している他地域と比較を行うことができます。

【公開されている結果の参照先】

・ <https://www.sci-japan.or.jp/LWCI/index.html>

(一般社団法人スマートシティ・インスティテュート：地域幸福度 (Well-Being) 指標サイト)

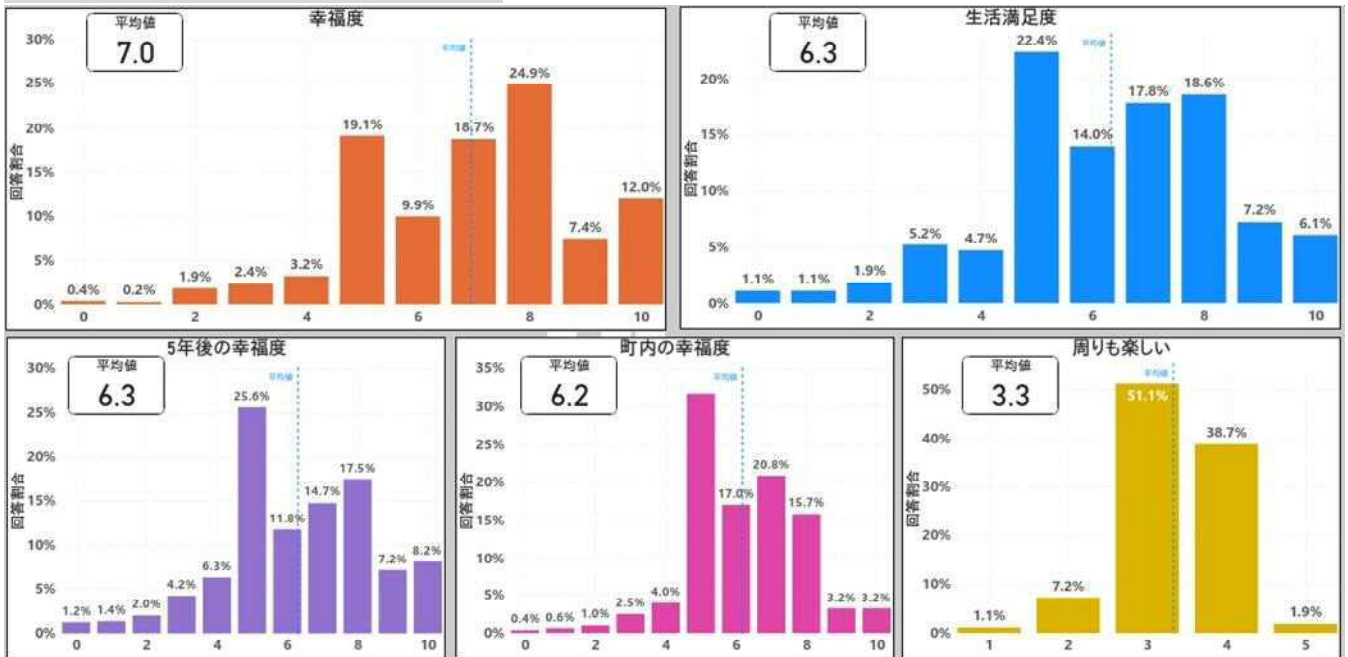
・ https://www.sci-japan.or.jp/LWCI/dashboard/r5_kobetsu_shikuchoson.html

(上記サイト内の「令和5年度 Well-Being アンケートダッシュボード (個別調査/市区町村版)」)

○ この報告書では、主要な表のみ掲載します。

問 12～問 19 における有効回答数は、n = 808 人です。

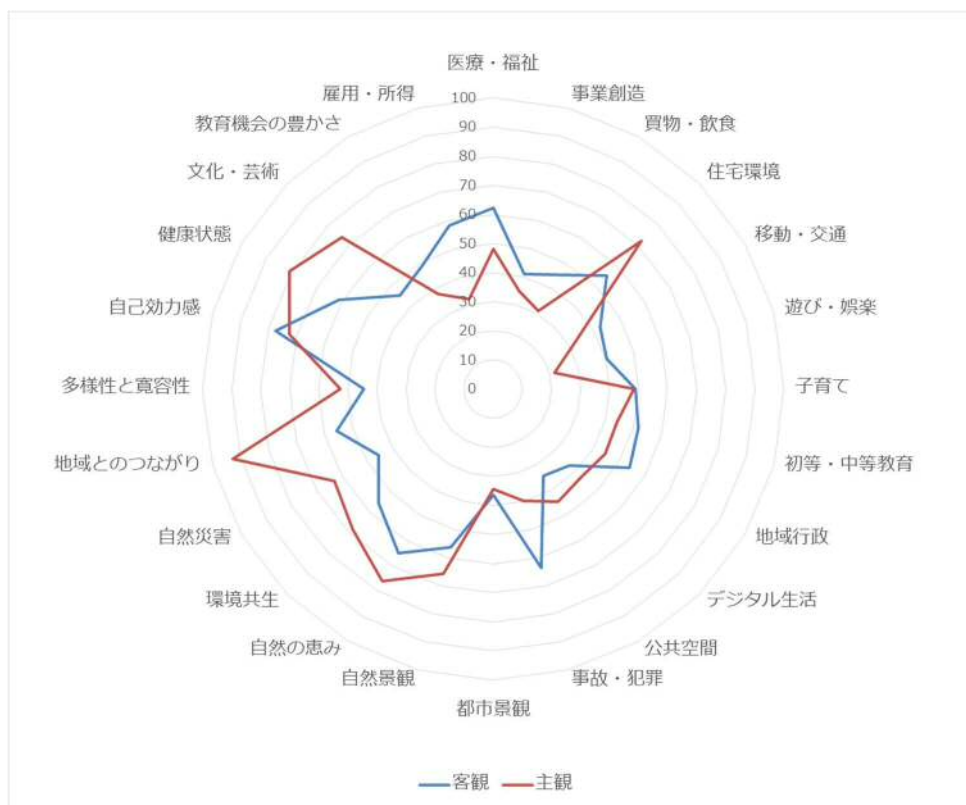
<幸福度について（問 12～問 16）>



<生活環境について、地域の人間関係について、自分らしい生き方について（問 17～問 19）>

○ 24 の要素について、主観（アンケート結果）及び客観（統計データ等）が偏差値化されています。

（レーダーチャート）



(レーダーチャートの元表：24 要素ごとの偏差値)

因子	客観	主観
医療・福祉	62.27	48.16
事業創造	40.99	34.84
買物・飲食	45.44	30.9
住宅環境	55.06	72.09
移動・交通	42.44	32.95
遊び・娯楽	40.51	21.75
子育て	49.02	48.44
初等・中等教育	51.69	44.11
地域行政	54.03	44.59
デジタル生活	36.99	42.86
公共空間	34.4	44.55
事故・犯罪	63.55	39.89
都市景観	36.48	34.33
自然景観	56.16	65.85
自然の恵み	65.16	76.1
環境共生	55.56	68.4
自然災害	45.43	63.18
地域とのつながり	55.6	92.69
多様性と寛容性	44.56	52.54
自己効力感	77.44	72.59
健康状態	61.19	80.84
文化・芸術	45.38	73.64
教育機会の豊かさ	48.75	37.77
雇用・所得	58.29	31.88

松川町のまちづくりへの取り組みについて

問 20 あなたは、普段の生活の中で、次の項目について、どの程度満足していると感じていますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。満足度、今後の重要度それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

「現状の満足度」と「今後の重要度」のマトリクス分析について

- マトリクス作成方法

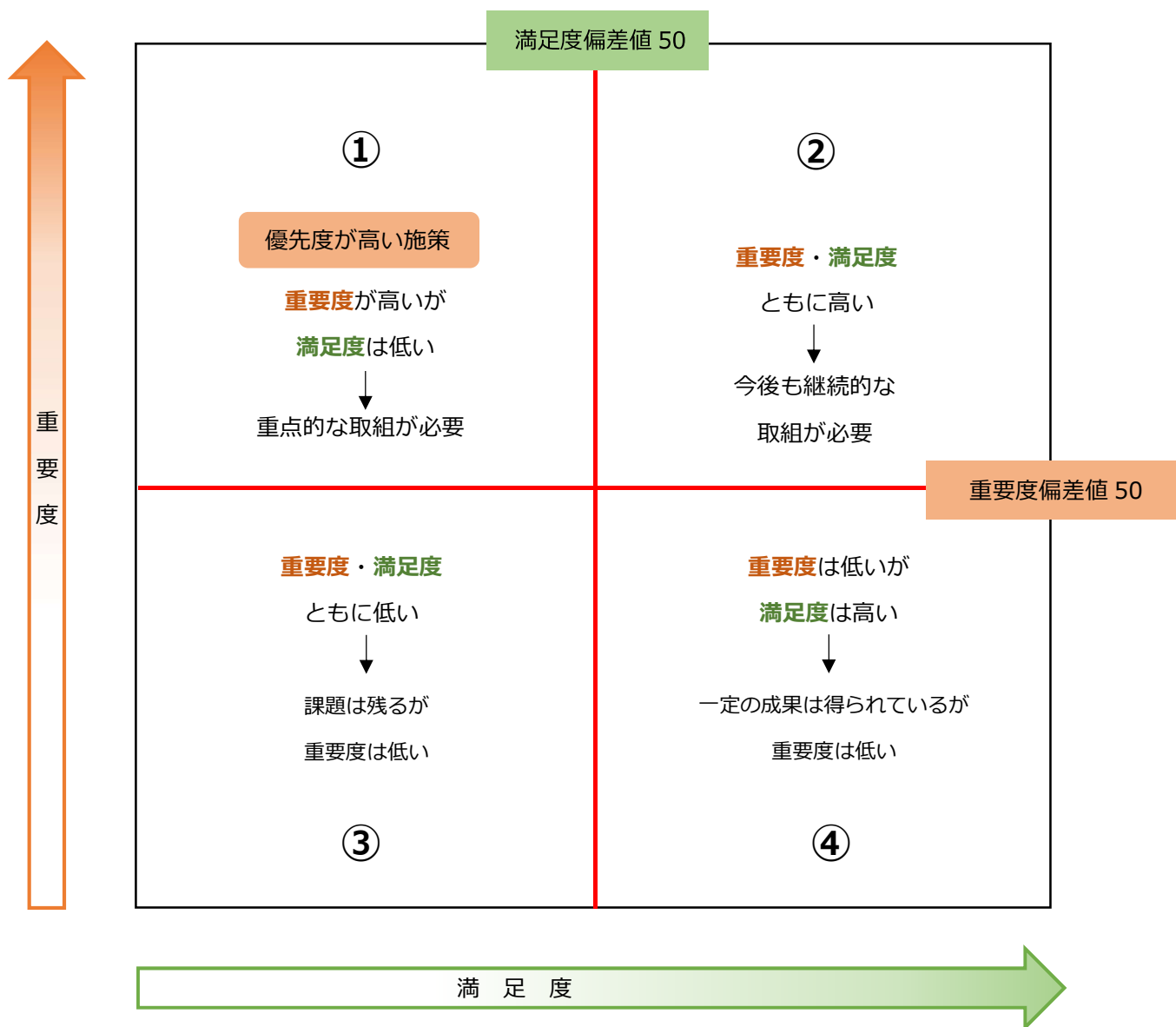
- ・第5次松川町総合計画〔改訂版〕における町の取り組み（施策分野項目）31項目について、「現状の満足度」（以下、「満足度」という）と「今後の重要度」（以下、「重要度」という）の各選択肢に以下の通り点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで施策ごとの「満足度」、「重要度」を算出した。
- ・全31項目の満足度・重要度それぞれの結果によって4象限に区分されるマトリクス上に、各取り組みの結果をプロットした。
- ・マトリクス分析は、アンケート結果の数値を偏差値化し、作成している。
- ・マトリクス分析は、下記の区分ごとに行っている。
①回答者全体、②10歳代～20歳代、③30歳代～50歳代、④60歳代～80歳代

<アンケートの点数表>

満足度	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
重要度	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 ではない	重要ではな い
点数 (回答者が○をつ けた番号)	5	4	3	2	1

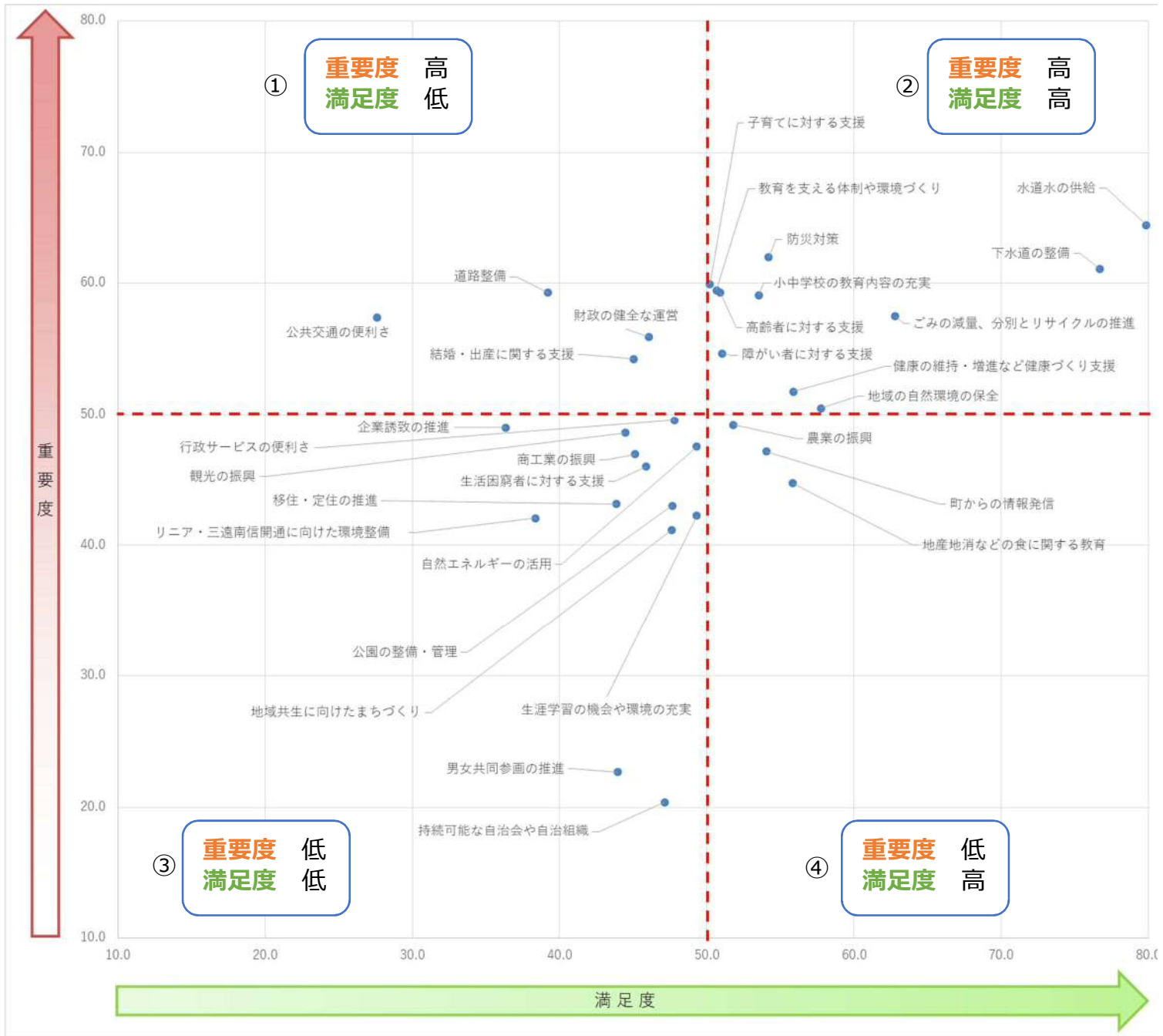
● マトリクスの見方

- ・ **満足度**【横方向】：町の各施策に対する、住民の現状での満足度。高いほど（右にあるほど）、住民からの評価が高い。
- ・ **重要度**【縦方向】：住民が考える各施策の重要度。高いほど（上にあるほど）、今後重点的に取り組むことを望む住民が多い。



● 全体の結果

<マトリクス表>は、次図のようになる。



- 満足度・重要度ともに高いカテゴリにある項目は、生活の基本的なライフラインの項目（「水道水の供給」や「下水道の整備」など）も含まれており、今後も継続的に取り組む必要がある。
- 満足度が低く、重要度が高いカテゴリにある項目は、今後においても、さらに重点的に取り組む必要がある。
- 満足度・重要度ともに低いカテゴリにある項目は、町民にとってわかりづらい項目であったり、分野自体の基本的な知識等や町の取り組みが十分に周知されていない、町の周知広報不足であることも考えられる。

○ 満足度・重要度別に、点数の高かった項目上位5つ及び低かった項目5つは、下表のとおり。

<満足度>

上位5項目(高い順)		下位5項目(低い順)	
1	水道水の供給	1	公共交通の便利さ
2	下水道の整備	2	企業誘致の推進
3	ごみの減量、分別とリサイクルの推進	3	リニア・三遠南信開通に向けた環境整備
4	地域の自然環境の保全	4	道路整備
5	健康の維持・増進など健康づくり支援	5	移住・定住の推進

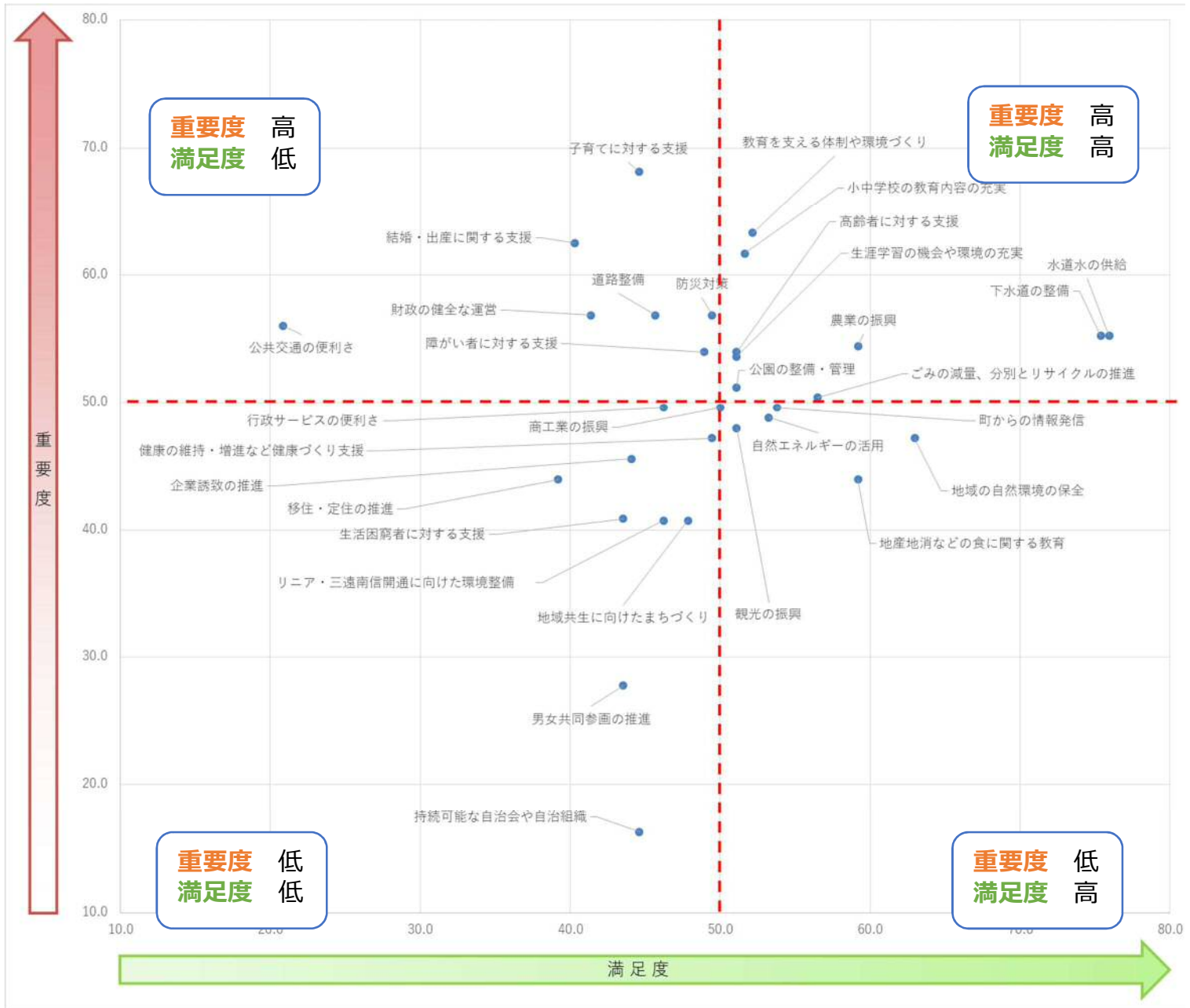
<重要度>

上位5項目(高い順)		下位5項目(低い順)	
1	水道水の供給	1	持続可能な自治会や自治組織
2	防災対策	2	男女共同参画の推進
3	下水道の整備	3	地域共生に向けたまちづくり
4	子育てに対する支援	4	リニア・三遠南信開通に向けた環境整備
5	教育を支える体制や環境づくり	5	生涯学習の機会や環境の充実

● 年代別の結果

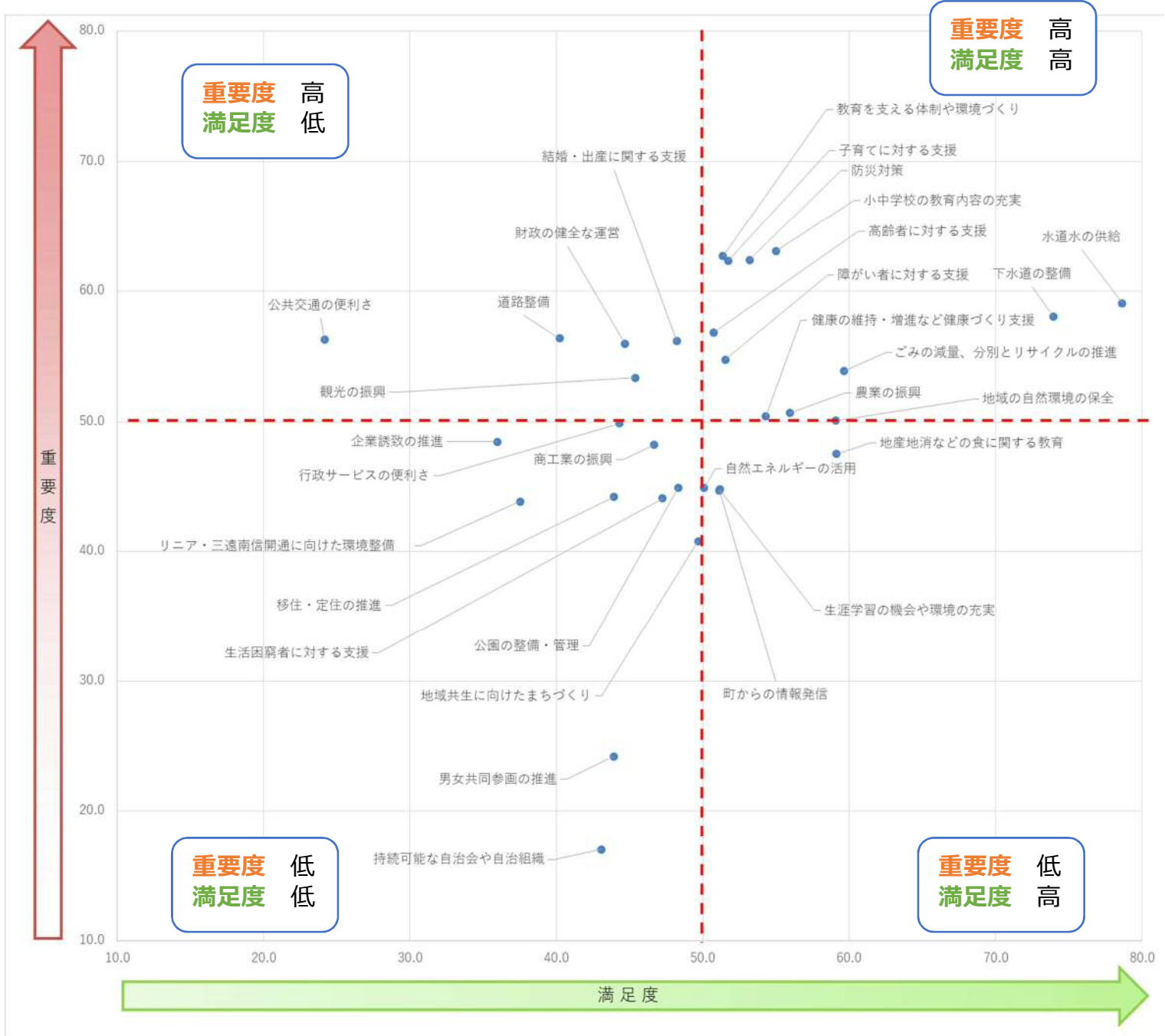
10～20 歳代、30～50 歳代、60～80 歳代と大きく 3 区分に分けてマトリクスを作成し、分析した。基本的な傾向は全体と大きな違いはなかったものの、特定の項目に違いが見られる。

<10代・20代>



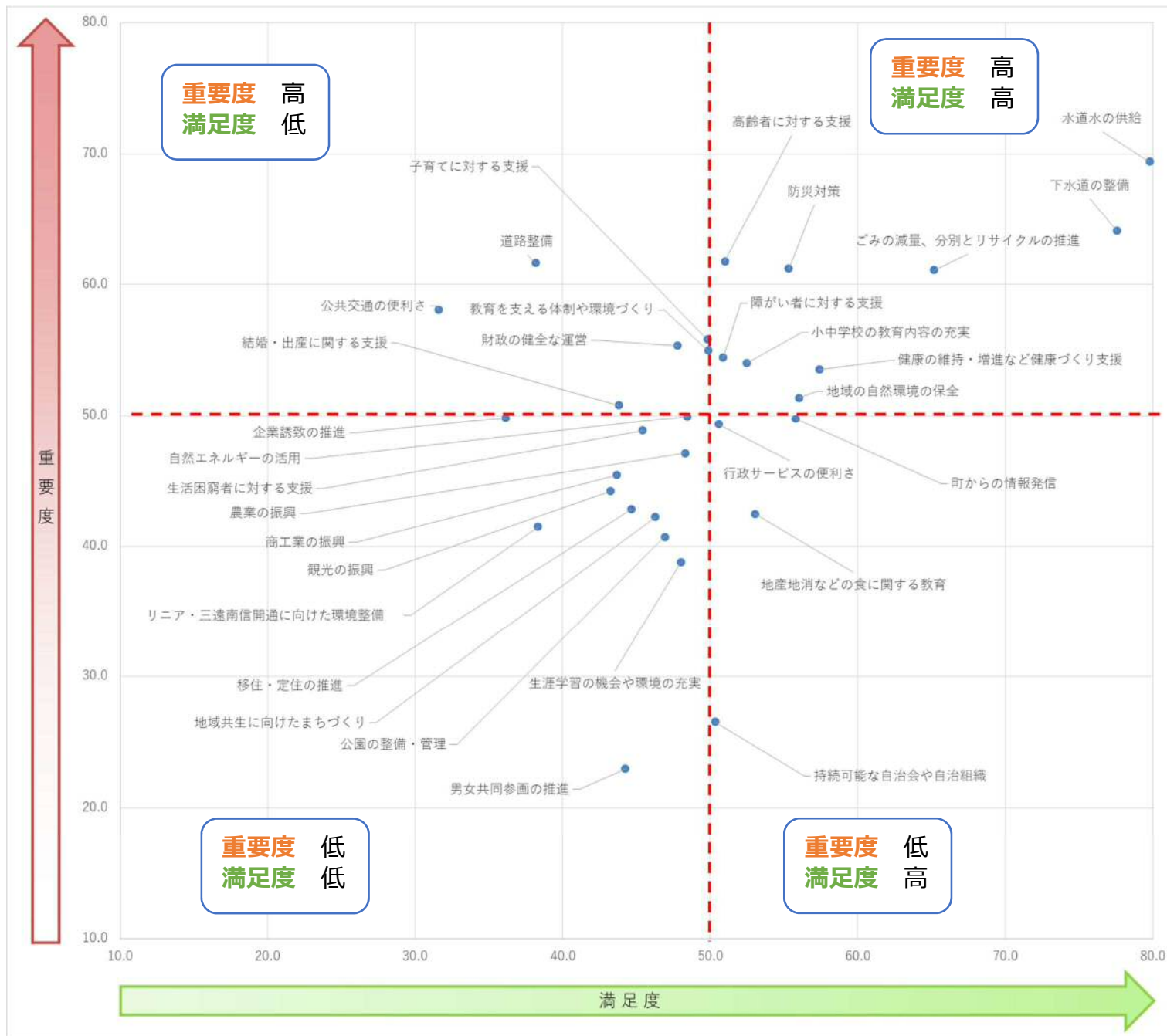
- 10 歳代～20 歳代の特徴として、「子育てに対する支援」「結婚・出産に関する支援」について、他年代に比べて満足度が低く、重要度が高い結果となった。
- 「公共交通の便利さ」の満足度が全年代区分の中で最も低い。

<30代・40代・50代>



- 「教育を支える体制や環境づくり」「小中学校の教育内容の充実」「子育てに対する支援」は他年代区分に比べて重要度が高い。
- 「観光の振興」が他年代区分に比べて重要度が高い結果となっている。
- 「持続可能な自治会や自治組織」の満足度が他年代区分に比べて低い。

<60代・70代・80代>



- 「持続可能な自治会や自治組織」「健康の維持・増進など健康づくり支援」の満足度が全年代区分の中で最も高い。
- 「生涯学習の機会や環境の充実」の重要度が全年代区分の中で最も低い。
- 「農業の振興」が満足度・重要度ともに全年代区分の中で最も低い。

● マトリクス表における各領域の拡大図

マトリクス分析した区分

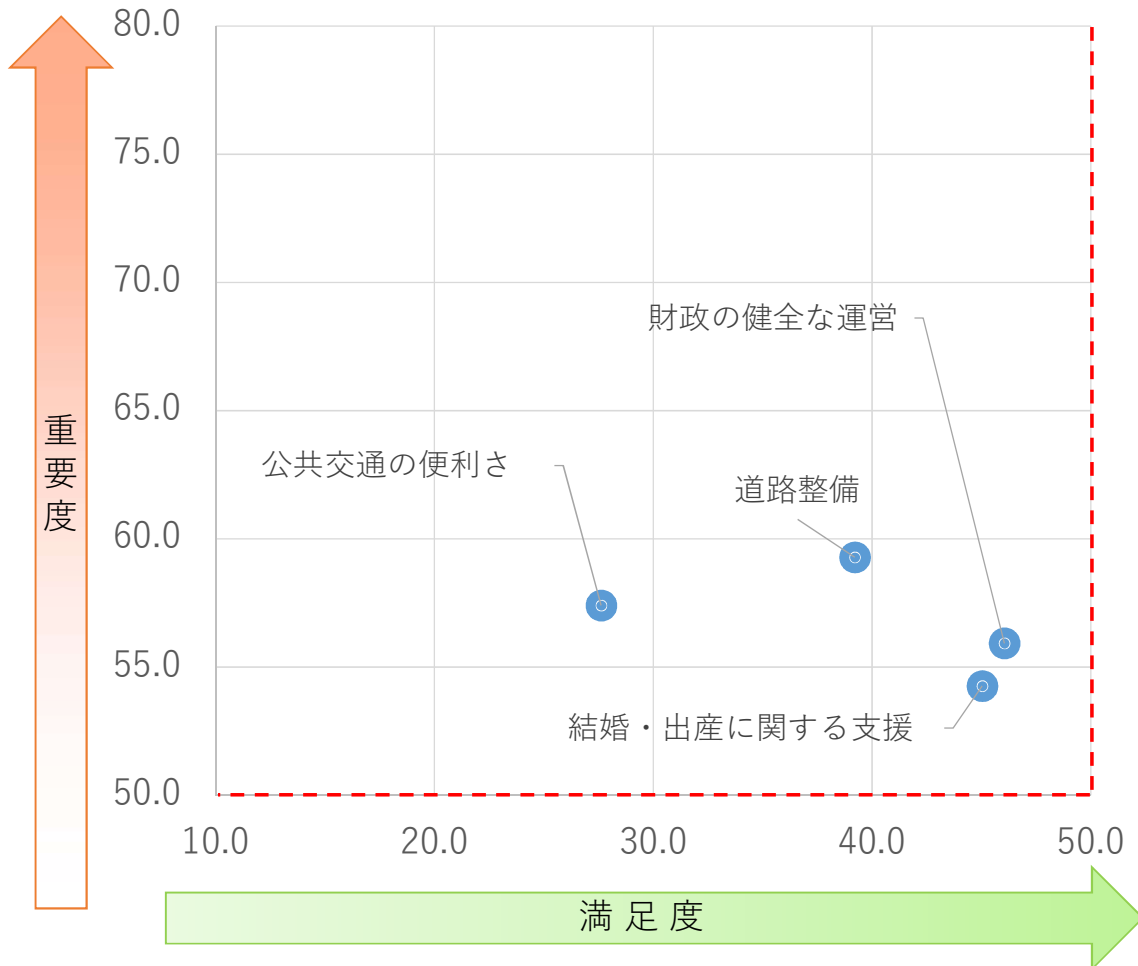
1. 回答者全体
2. 10歳代～20歳代
3. 30歳代～50歳代
4. 60歳代～80歳代

それぞれについて、

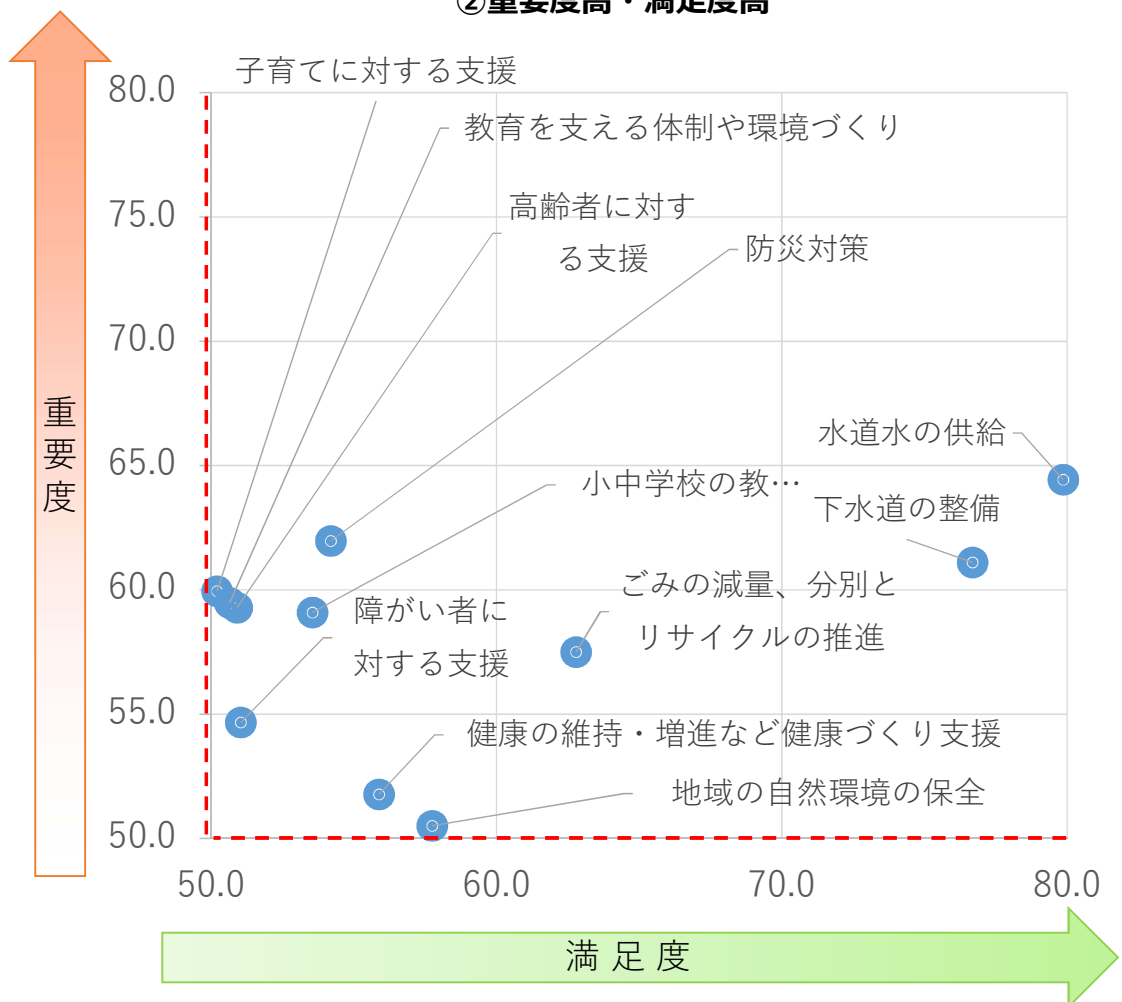
「マトリクスの見方」の①～④の領域を拡大しました。

1. 回答者全体

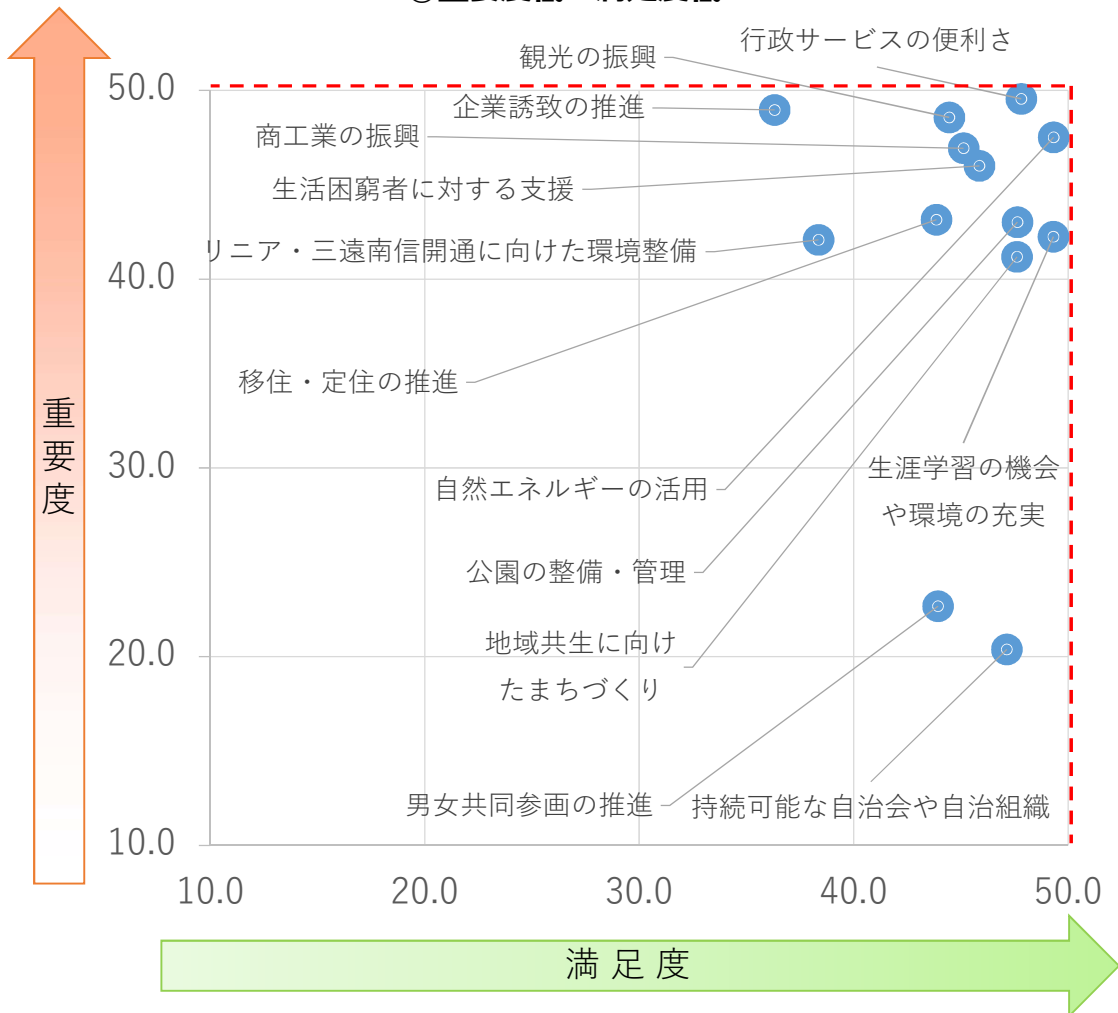
①重要度高・満足度低



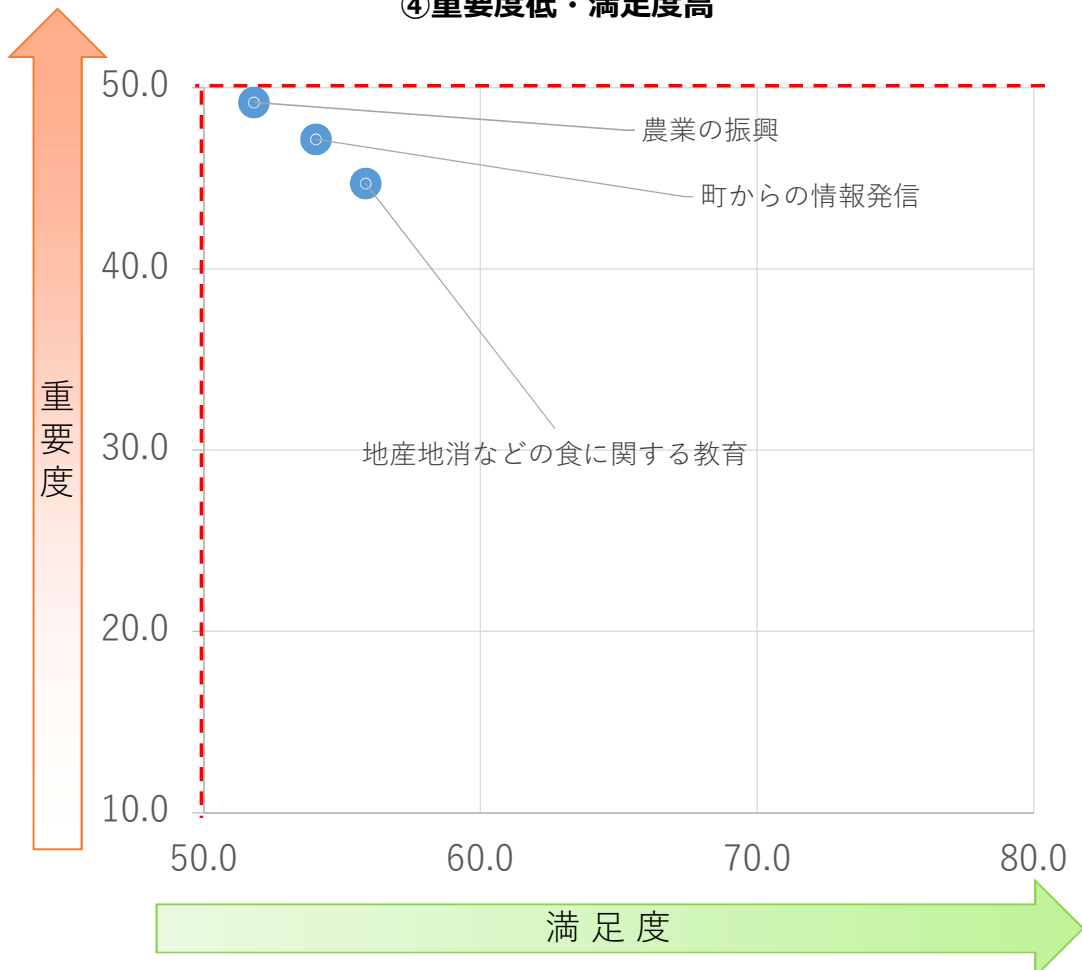
②重要度高・満足度高



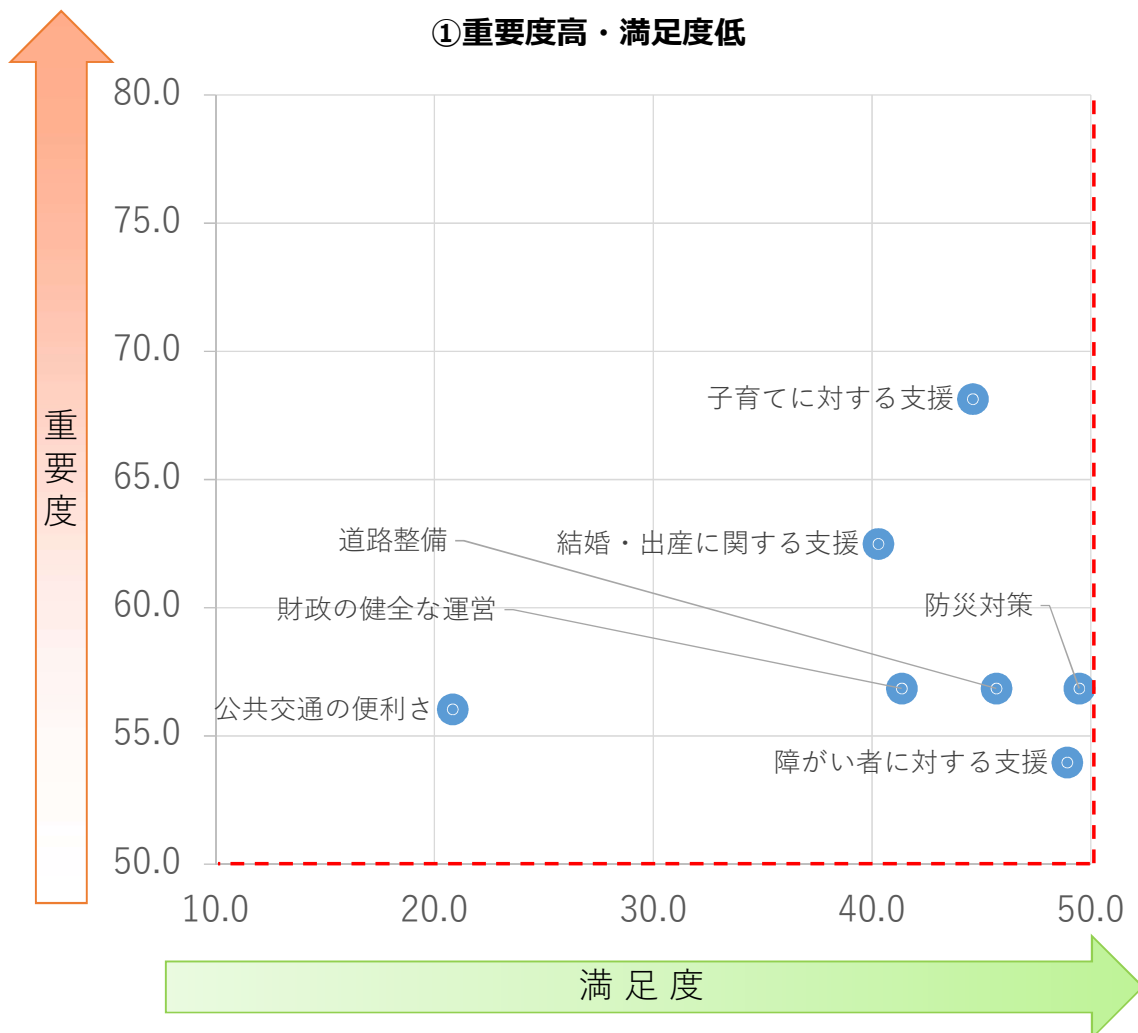
③重要度低・満足度低



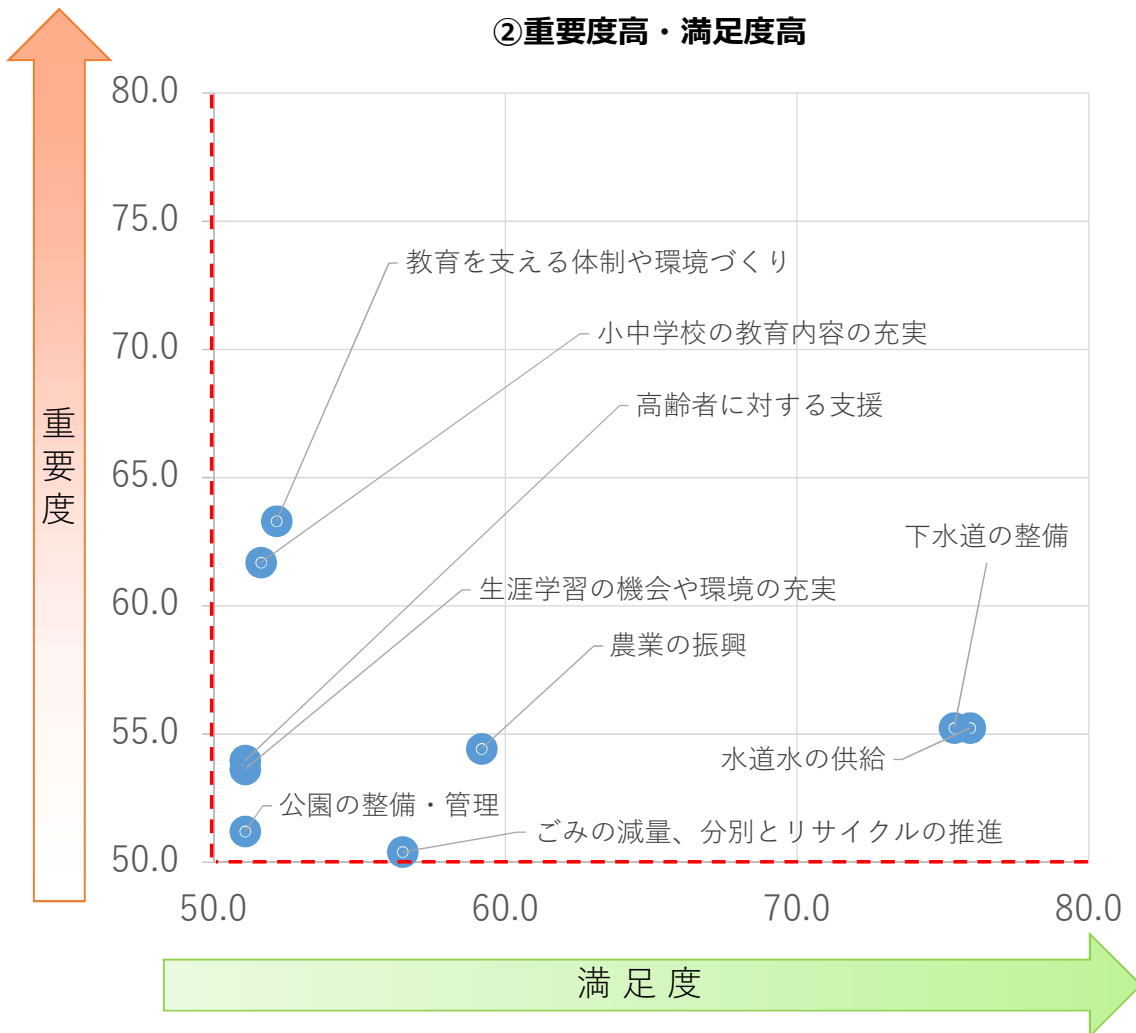
④重要度低・満足度高



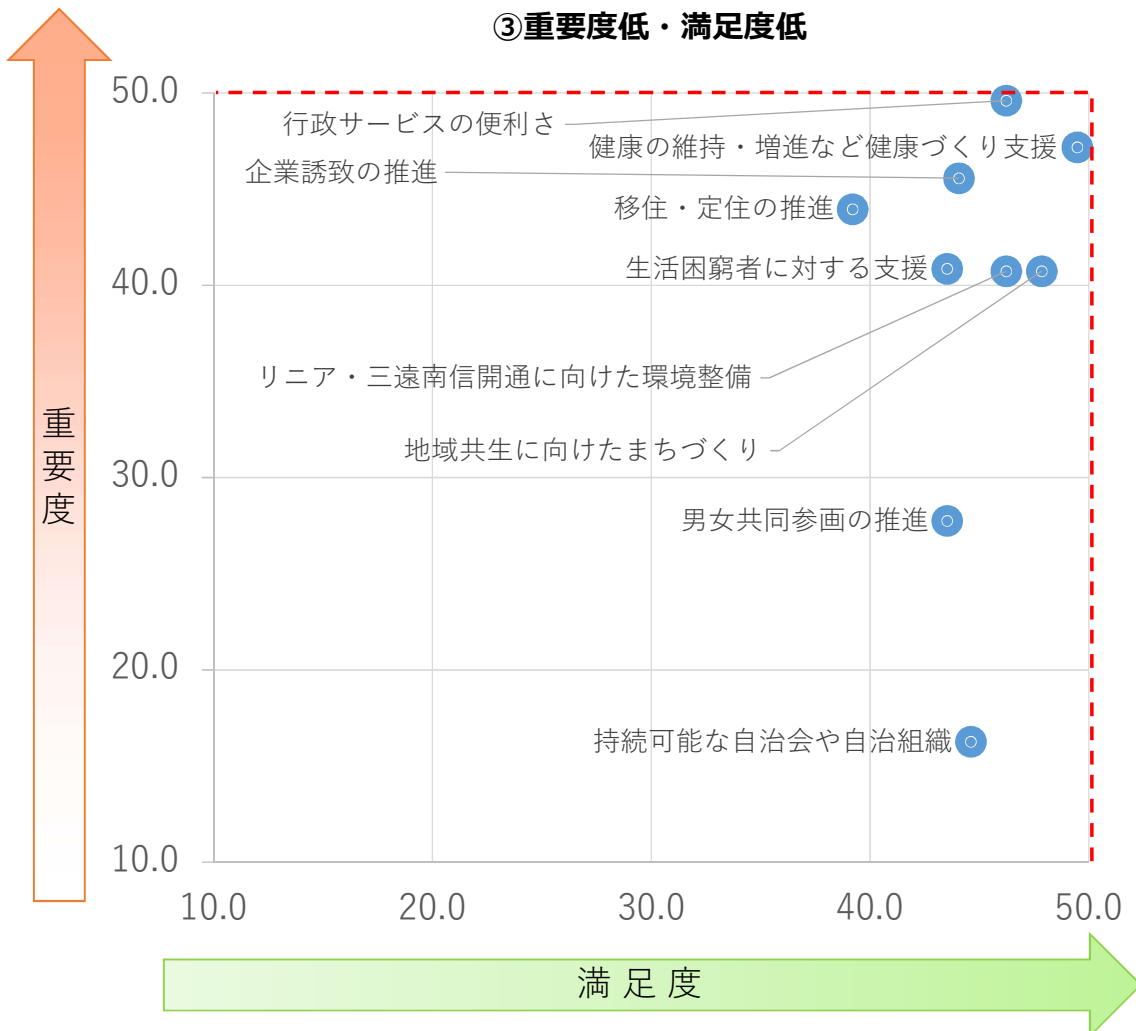
2.10歳代～20歳代

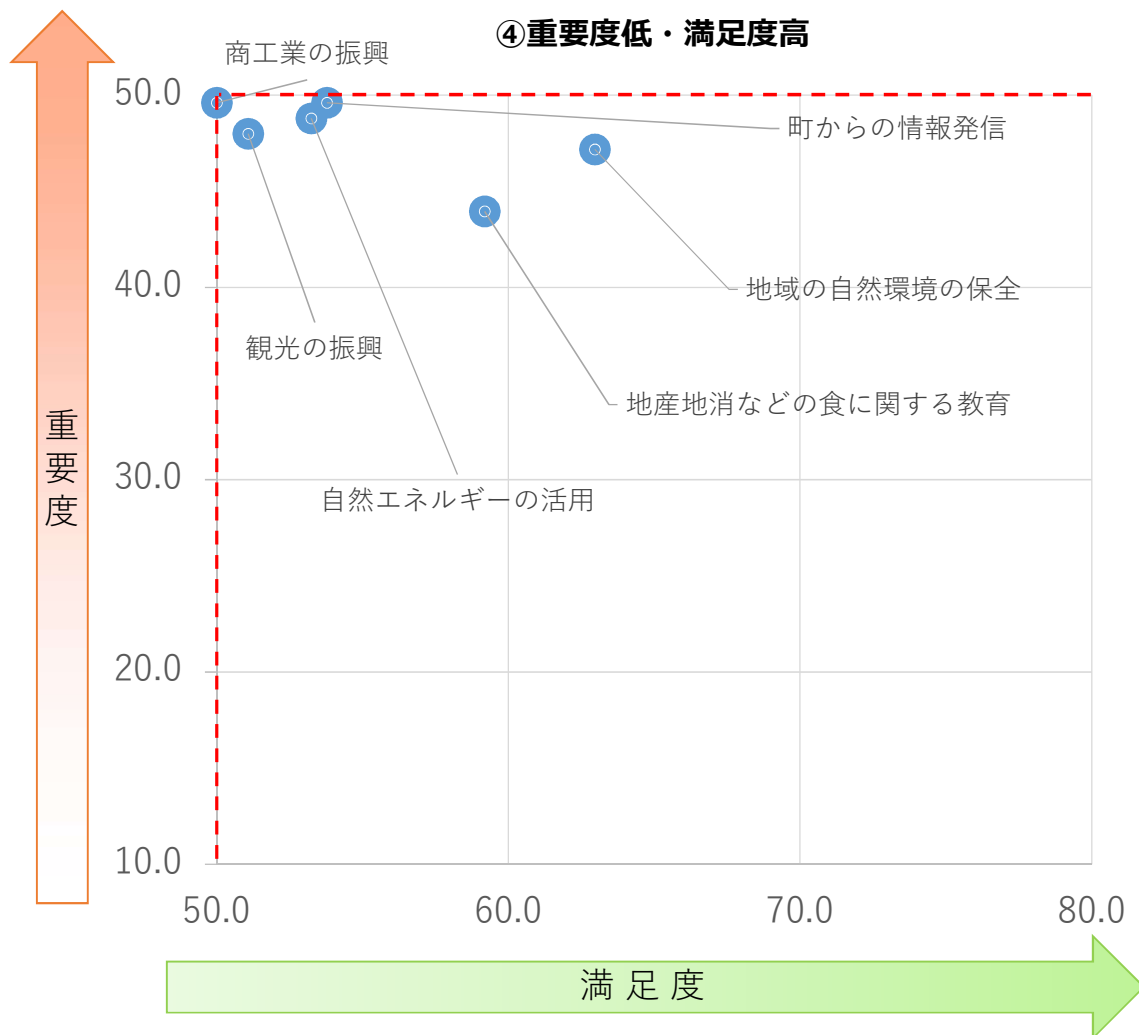


②重要度高・満足度高



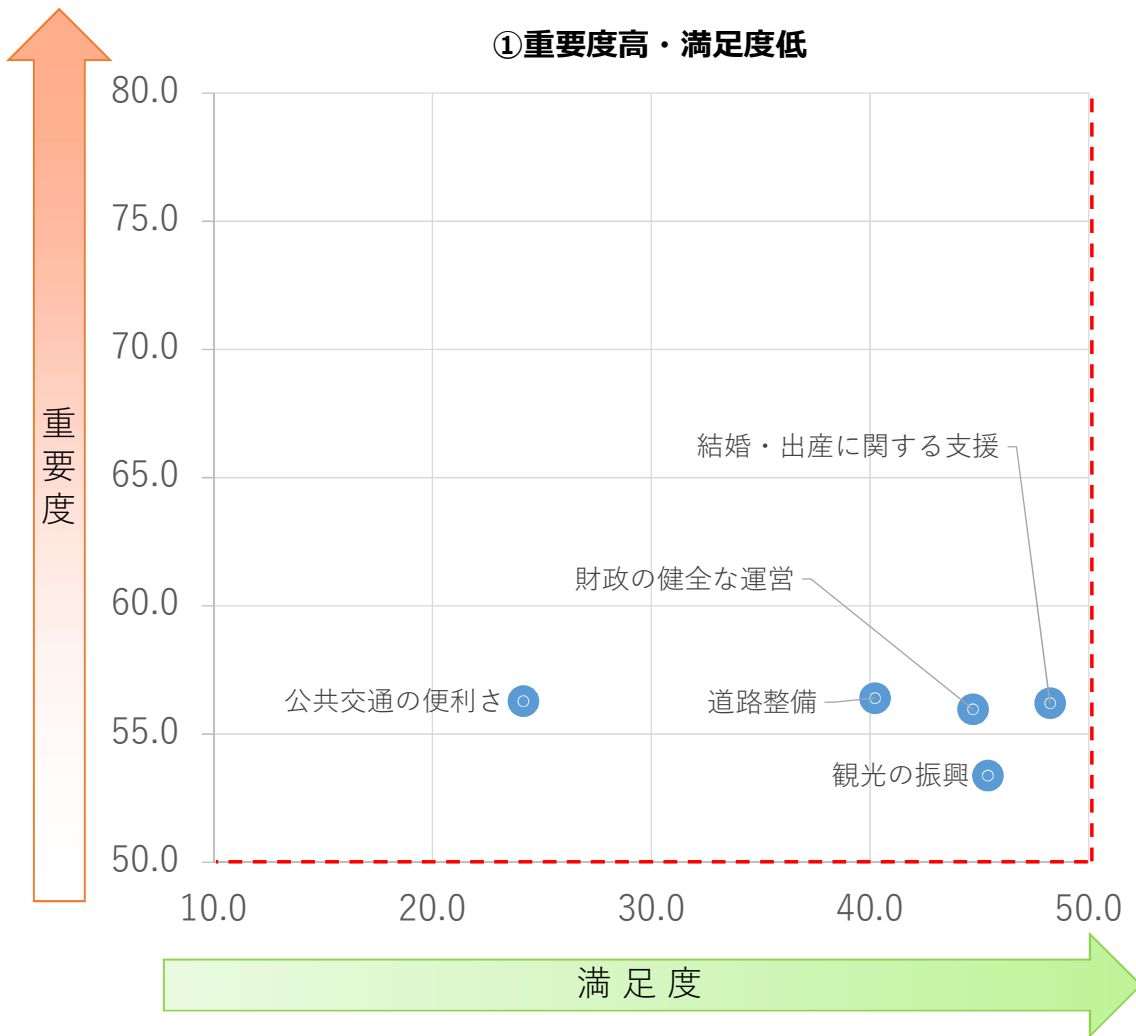
③重要度低・満足度低



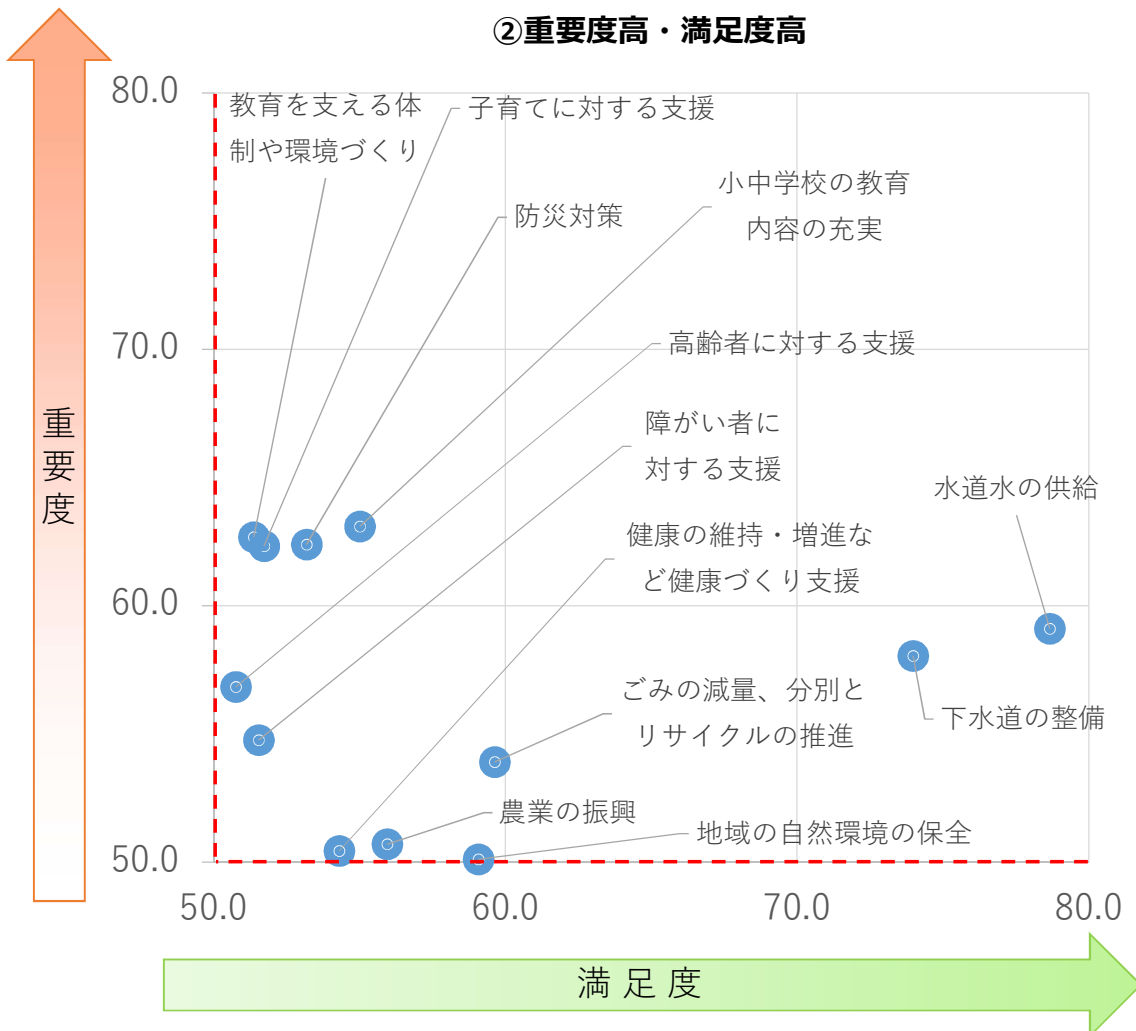


3.30歳代～50歳代

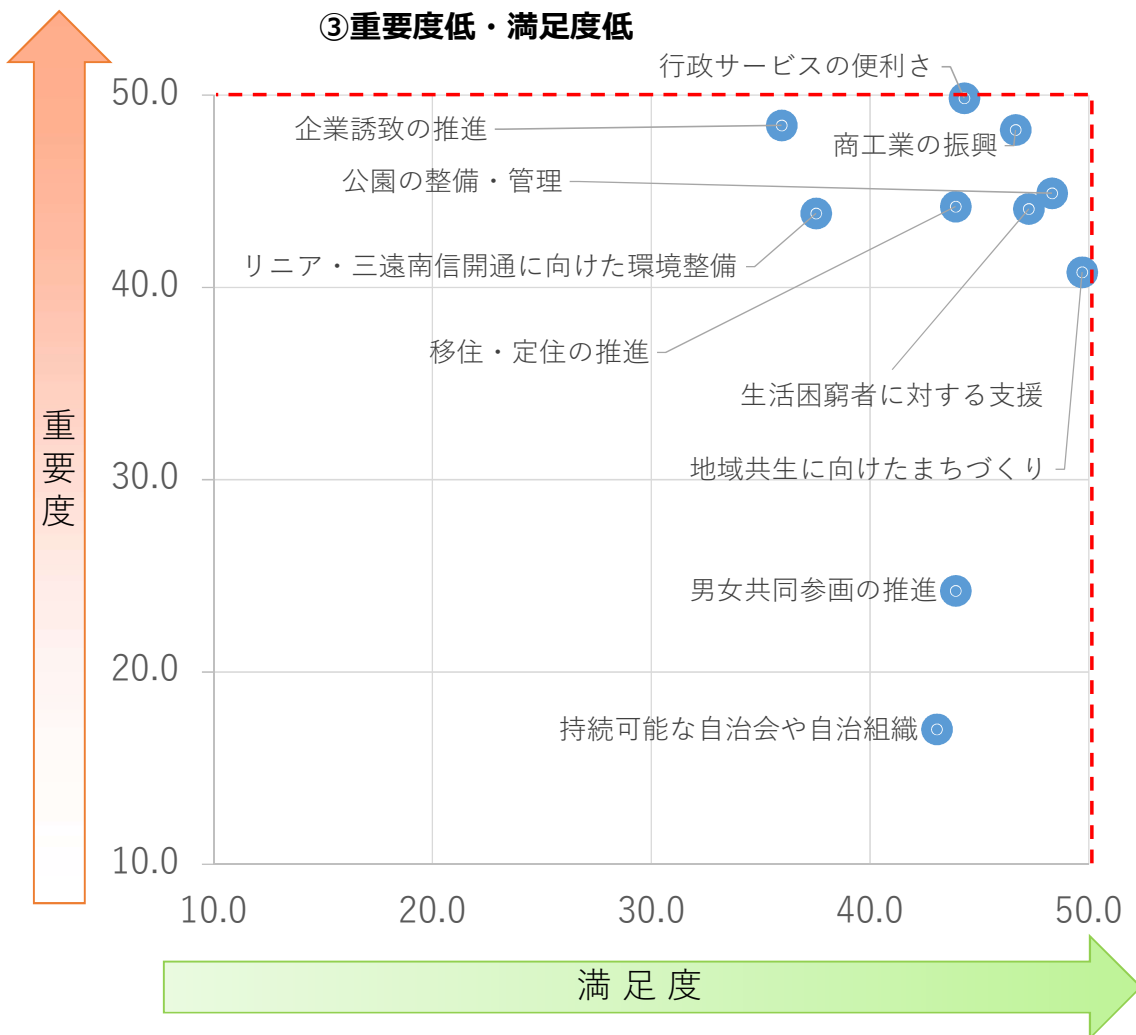
①重要度高・満足度低



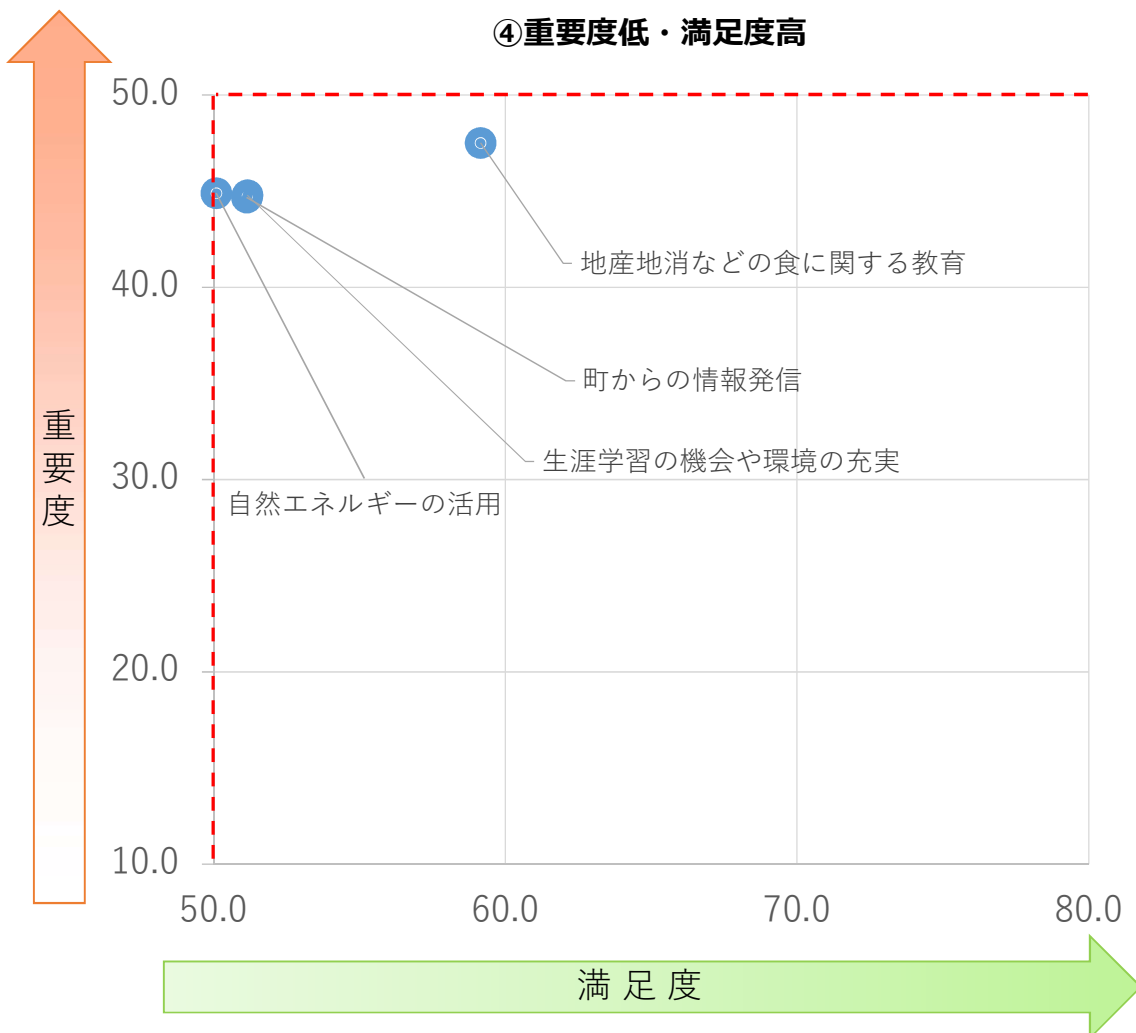
②重要度高・満足度高



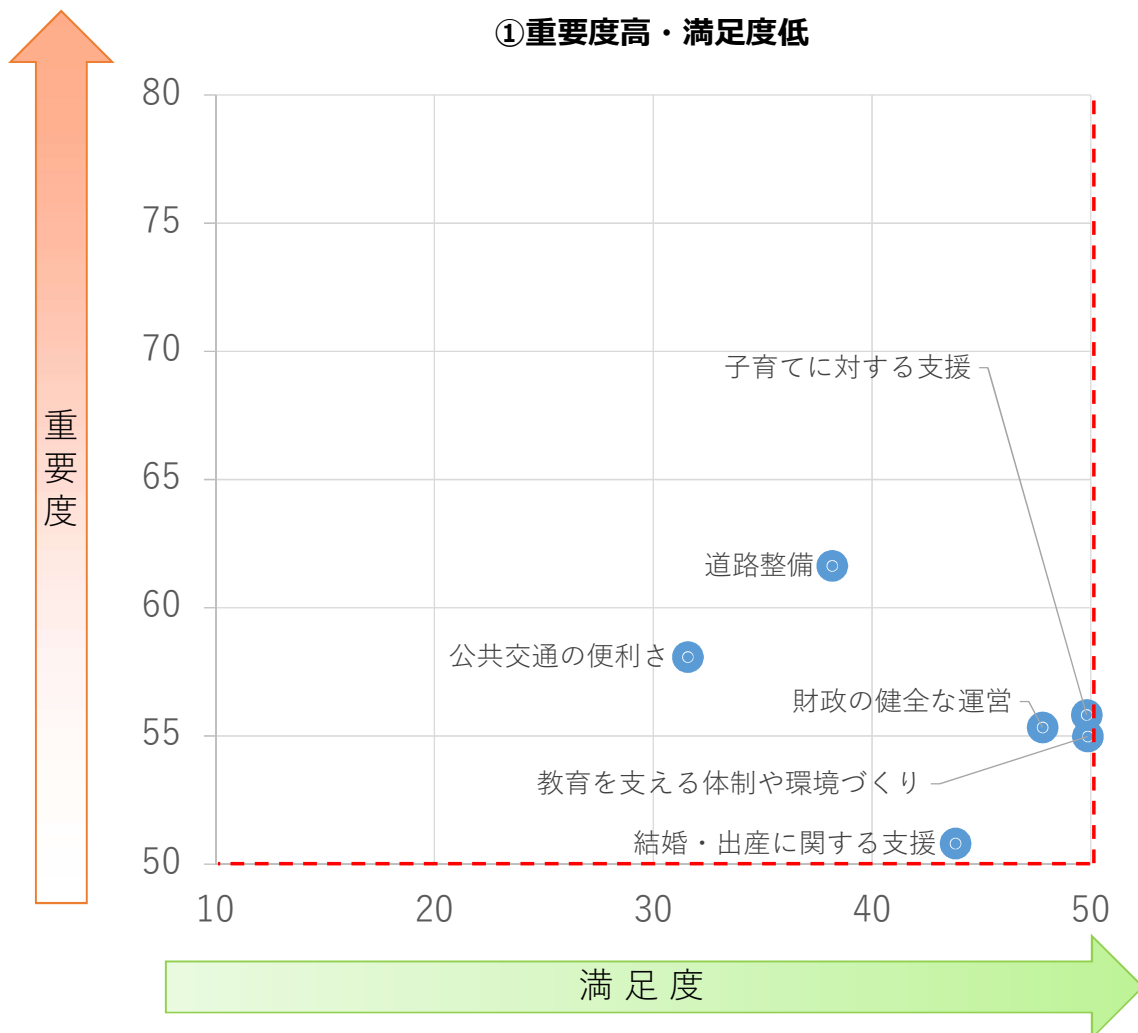
③重要度低・満足度低



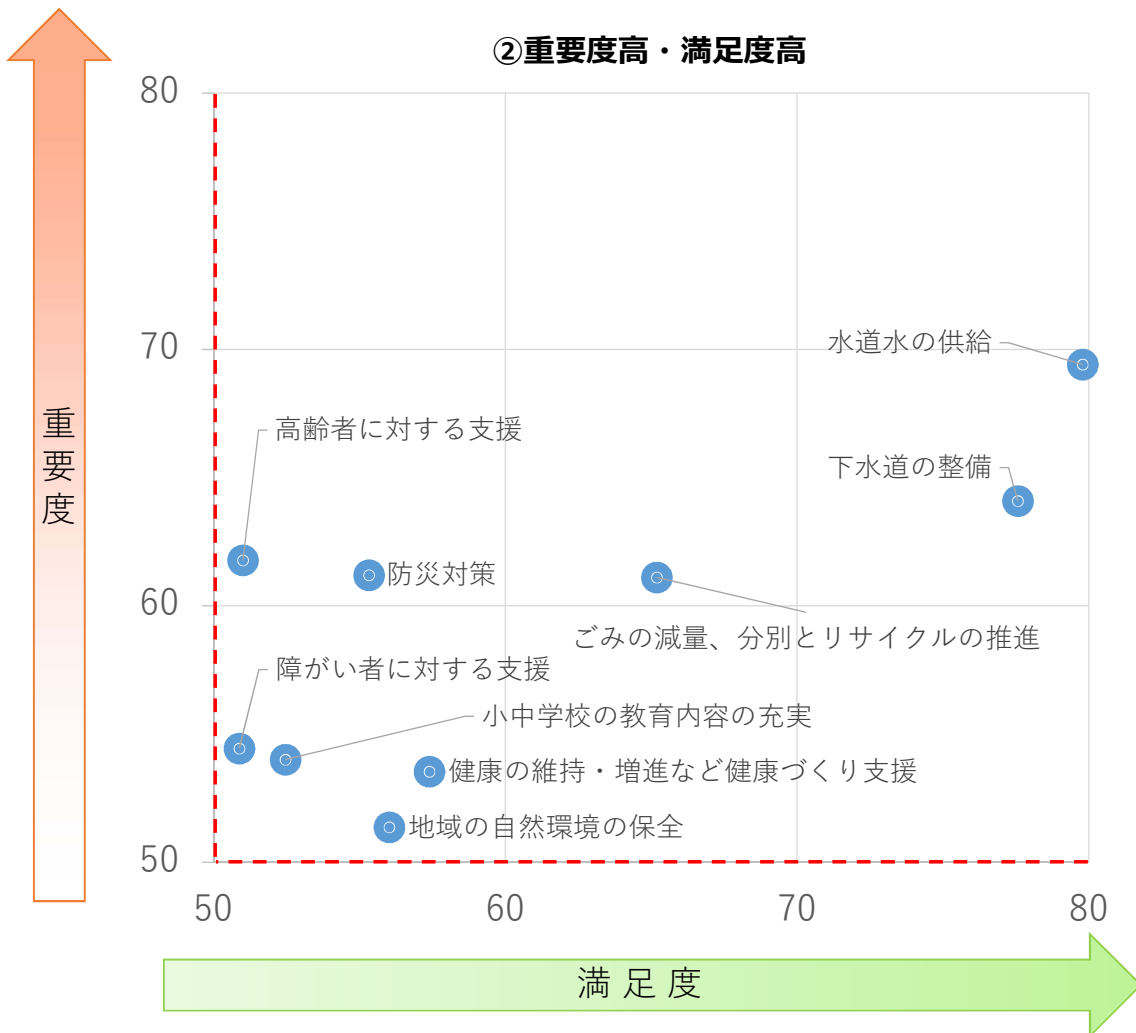
④重要度低・満足度高



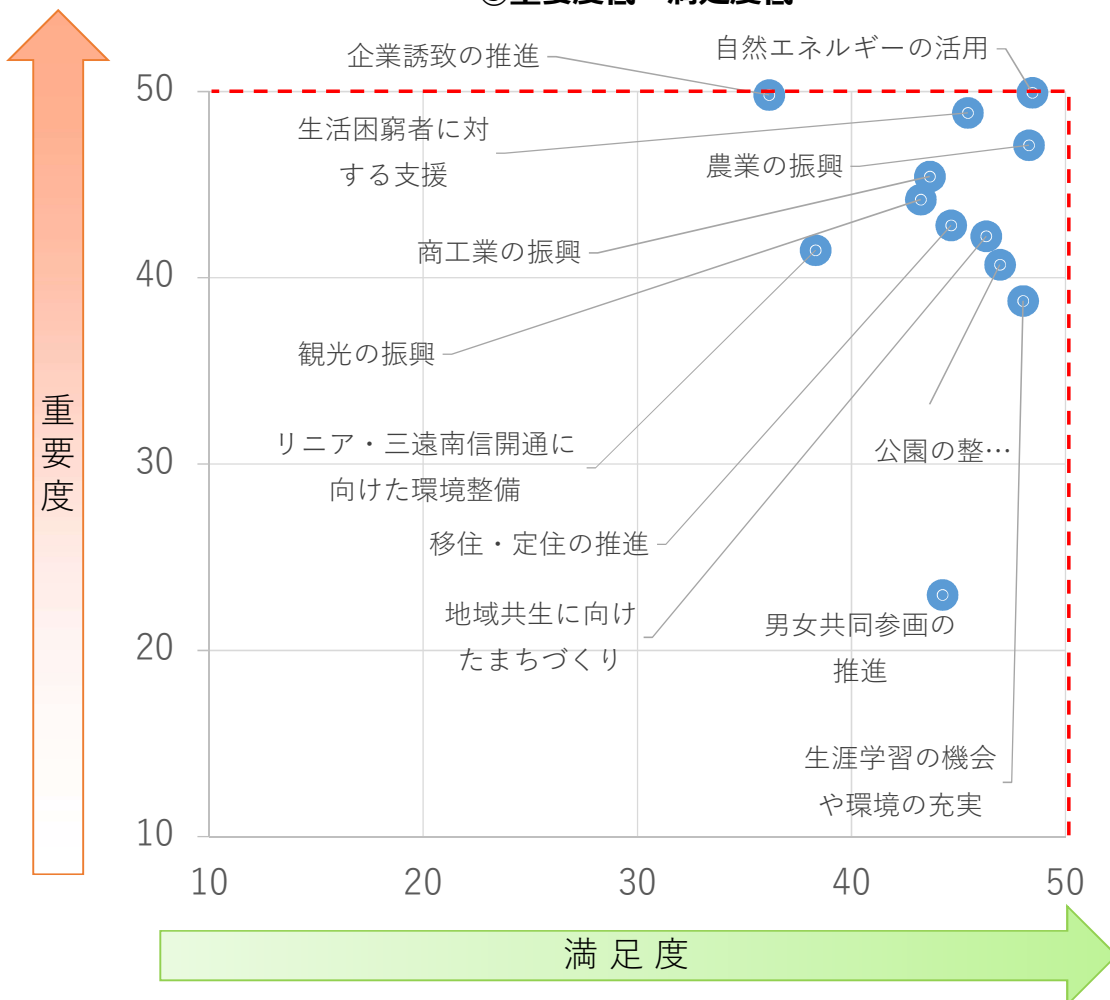
4.60歳代～80歳代



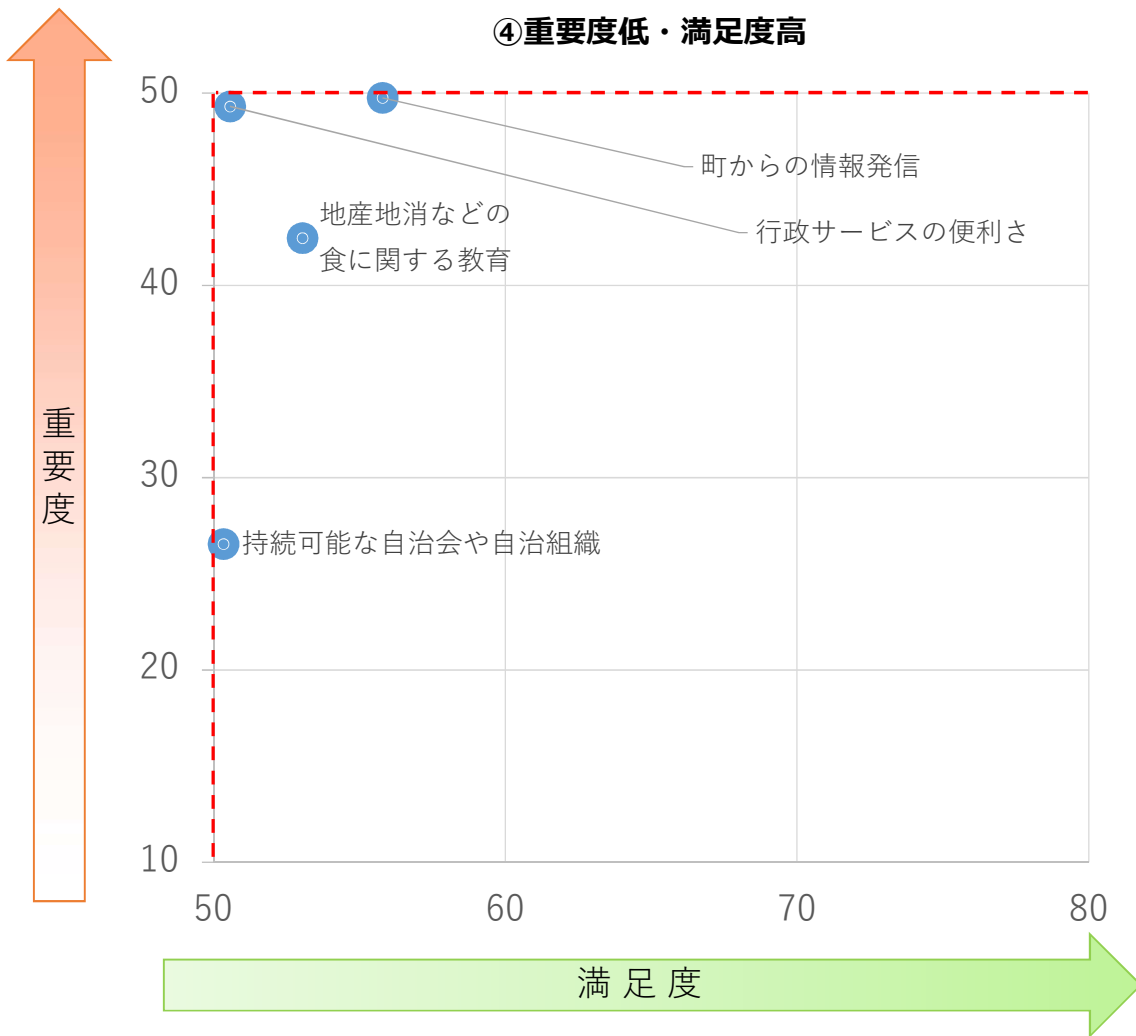
②重要度高・満足度高



③重要度低・満足度低



④重要度低・満足度高



<全体及び各年代の実数値・偏差値の一覧表>

No.	項目	全体				10代・20代				30代・40代・50代				60代・70代・80代			
		点数		偏差値		点数		偏差値		点数		偏差値		点数		偏差値	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	持続可能な自治会や自治組織	3.03	3.59	47.1	20.4	3.15	3.67	44.6	16.3	2.89	3.42	43.1	17.0	3.11	3.70	50.3	26.6
2	男女共同参画の推進	2.94	3.64	43.9	22.7	3.11	3.90	43.5	27.7	2.92	3.59	43.9	24.2	2.94	3.64	44.3	23.0
3	町からの情報発信	3.22	4.10	54.0	47.2	3.42	4.34	53.8	49.6	3.12	4.07	51.1	44.7	3.27	4.09	55.8	49.8
4	行政サービスの便利さ	3.05	4.14	47.8	49.6	3.19	4.34	46.2	49.6	2.93	4.19	44.3	49.8	3.12	4.08	50.6	49.3
5	財政の健全な運営	3.00	4.26	46.1	55.9	3.05	4.48	41.4	56.9	2.94	4.34	44.7	56.0	3.04	4.18	47.8	55.3
6	移住・定住の推進	2.94	4.02	43.9	43.1	2.98	4.23	39.2	44.0	2.92	4.06	43.9	44.2	2.95	3.97	44.7	42.8
7	子育てに対する支援	3.12	4.33	50.2	59.9	3.15	4.71	44.6	68.1	3.14	4.49	51.7	62.3	3.10	4.19	49.8	55.8
8	結婚・出産に関する支援	2.97	4.23	45.0	54.3	3.02	4.60	40.3	62.5	3.04	4.34	48.2	56.2	2.93	4.10	43.8	50.8
9	小中学校の教育内容の充実	3.21	4.32	53.6	59.1	3.35	4.58	51.6	61.7	3.23	4.50	55.0	63.1	3.17	4.16	52.5	54.0
10	教育を支える体制や環境づくり	3.13	4.33	50.7	59.5	3.37	4.61	52.2	63.3	3.13	4.49	51.4	62.7	3.10	4.17	49.9	55.0
11	生涯学習の機会や環境の充実	3.09	4.00	49.3	42.2	3.34	4.42	51.1	53.6	3.12	4.07	51.2	44.8	3.05	3.90	48.0	38.8
12	健康の維持・増進など健康づくり支援	3.27	4.18	55.9	51.8	3.29	4.29	49.5	47.2	3.21	4.21	54.3	50.4	3.31	4.15	57.4	53.5
13	地産地消などの食に関する教育	3.27	4.05	55.8	44.7	3.58	4.23	59.2	44.0	3.35	4.14	59.1	47.5	3.19	3.96	53.0	42.5
14	障がい者に対する支援	3.14	4.24	51.0	54.7	3.27	4.43	48.9	54.0	3.13	4.31	51.5	54.8	3.13	4.16	50.9	54.4
15	高齢者に対する支援	3.14	4.32	50.9	59.3	3.34	4.43	51.1	54.0	3.11	4.36	50.8	56.8	3.13	4.29	51.0	61.8
16	生活困窮者に対する支援	3.00	4.07	45.9	46.0	3.11	4.16	43.5	40.9	3.01	4.06	47.2	44.1	2.97	4.07	45.4	48.9
17	地域共生に向けたまちづくり	3.05	3.98	47.6	41.2	3.24	4.16	47.8	40.7	3.08	3.98	49.7	40.8	3.00	3.96	46.3	42.2
18	防災対策	3.23	4.37	54.2	62.0	3.29	4.48	49.5	56.9	3.18	4.49	53.2	62.4	3.25	4.28	55.3	61.2
19	道路整備	2.81	4.32	39.2	59.3	3.18	4.48	45.7	56.9	2.81	4.35	40.2	56.4	2.77	4.28	38.2	61.6
20	公共交通の便利さ	2.49	4.29	27.6	57.4	2.44	4.47	20.8	56.0	2.36	4.34	24.2	56.3	2.58	4.23	31.6	58.1
21	地域の自然環境の保全	3.33	4.16	57.7	50.5	3.69	4.29	63.0	47.2	3.34	4.20	59.1	50.1	3.27	4.11	56.0	51.4
22	公園の整備・管理	3.05	4.02	47.6	43.0	3.34	4.37	51.1	51.2	3.04	4.07	48.3	44.9	3.02	3.93	46.9	40.7
23	ごみの減量、分別とリサイクルの推進	3.47	4.29	62.8	57.5	3.50	4.35	56.5	50.4	3.36	4.29	59.6	53.9	3.53	4.28	65.2	61.1
24	自然エネルギーの活用	3.09	4.10	49.3	47.5	3.40	4.32	53.2	48.8	3.09	4.07	50.1	44.9	3.06	4.09	48.4	49.9
25	水道水の供給	3.94	4.42	79.9	64.4	4.08	4.45	75.9	55.2	3.90	4.41	78.7	59.1	3.94	4.41	79.8	69.4
26	下水道の整備	3.85	4.36	76.7	61.1	4.06	4.45	75.4	55.2	3.76	4.39	74.0	58.0	3.88	4.33	77.6	64.1
27	農業の振興	3.16	4.13	51.8	49.2	3.58	4.44	59.2	54.4	3.26	4.21	55.9	50.7	3.05	4.04	48.3	47.1
28	商工業の振興	2.98	4.09	45.1	46.9	3.31	4.34	50.0	49.6	2.99	4.15	46.7	48.2	2.92	4.01	43.7	45.4
29	企業誘致の推進	2.73	4.13	36.3	49.0	3.13	4.26	44.1	45.6	2.69	4.16	36.0	48.4	2.71	4.09	36.2	49.8
30	観光の振興	2.96	4.12	44.5	48.6	3.34	4.31	51.1	48.0	2.96	4.28	45.4	53.4	2.91	3.99	43.2	44.2
31	リニア・三遠南信開通に向けた環境整備	2.79	4.00	38.4	42.1	3.19	4.16	46.2	40.7	2.74	4.05	37.5	43.8	2.77	3.95	38.3	41.5
	最大	3.94	4.42	79.9	64.4	4.08	4.71	75.9	68.1	3.90	4.50	78.7	63.1	3.94	4.41	79.8	69.4
	最小	2.49	3.59	27.6	20.4	2.44	3.67	20.8	16.3	2.36	3.42	24.2	17.0	2.58	3.64	31.6	23.0
	平均	3.11	4.15			3.31	4.35			3.09	4.20			3.10	4.09		

● 経年比較

町の取り組み（施策項目）の重要度・満足度について、偏差値化したうえで、前回の町民アンケート（H30 実施）と比較した。

ただし、H30 年度実施時は第 5 次松川町総合計画に掲載のある施策分野についてアンケートを行っているため、単純な比較はできない。



▲ 前回（第 5 次[改訂版]策定時）アンケート項目：H30 年度実施

● 今回アンケート項目：R5 年度実施

▲前回アンケート項目：H30年度実施

No.	項目	満足度	重要度
1-1	笑顔を生み出す地域づくり	49.0	47.1
1-2	美しく住みよい環境づくり	48.4	51.2
1-3	環境にやさしい暮らしを育むまちづくり	67.2	57.8
1-4	森林の恩恵を次世代へつなぐ里山づくり	40.9	41.5
1-5	暮らしを支える交通環境づくり	29.5	55.8
1-6	地域性のある憩いの場づくり	43.2	37.9
1-7	清流の恩恵を次世代へつなぐ水辺環境づくり	48.2	44.5
1-8	生活環境を向上させるまちづくり	70.8	54.7
1-9	火災や災害に強い地域力あるまちづくり	59.3	67.1
1-10	交通事故や犯罪のない安心・安全づくり	52.9	57.5
2-1	地域の特色を活かした農業づくり	45.2	53.4
2-2	力強く、魅力ある商工業が育つまちづくり	28.1	50.7
3-1	情報を積極的に発信する地域づくり	47.0	49.6
3-2	健康で暮らし、安心して医療が受けられるまちづくり	66.6	69.2
3-3	支え合い、認め合う福祉のまちづくり	61.7	54.0
3-4	豊かな自然と共生するまちづくり	54.5	40.7
3-5	誇りある景観が続くまちづくり	41.7	43.2
4-1	住民に身近で効率的な役場づくり	49.8	51.0
4-2	魅力を発信し、交流する地域づくり	44.7	38.9
4-3	地域の魅力が伝わる観光づくり	53.2	54.0
4-4	多くのひとが定住したくなるまちづくり	36.2	51.0
5-1	どの世代も活躍できる人づくり	55.3	41.3
5-2	歴史が伝わり、伝統が継承されるまちづくり	55.7	28.7
5-3	男（ひと）と女（ひと）が共に取り組む社会づくり	48.0	31.0
5-4	健全な食生活を継続する環境づくり	56.9	43.4
6-1	次世代の担い手を育てる環境づくり	42.6	62.2
6-2	安心して子育てできる地域づくり	50.1	67.1
6-3	郷土に誇りのもてる人づくり	53.2	55.3

●今回アンケート項目：R5年度実施

No.	項目	満足度	重要度
1	持続可能な自治会や自治組織	47.1	20.4
2	男女共同参画の推進	43.9	22.7
3	町からの情報発信	54.0	47.2
4	行政サービスの便利さ	47.8	49.6
5	財政の健全な運営	46.1	55.9
6	移住・定住の推進	43.9	43.1
7	子育てに対する支援	50.2	59.9
8	結婚・出産に関する支援	45.0	54.3
9	小中学校の教育内容の充実	53.6	59.1
10	教育を支える体制や環境づくり	50.7	59.5
11	生涯学習の機会や環境の充実	49.3	42.2
12	健康の維持・増進など健康づくり支援	55.9	51.8
13	地産地消などの食に関する教育	55.8	44.7
14	障がい者に対する支援	51.0	54.7
15	高齢者に対する支援	50.9	59.3
16	生活困窮者に対する支援	45.9	46.0
17	地域共生に向けたまちづくり	47.6	41.2
18	防災対策	54.2	62.0
19	道路整備	39.2	59.3
20	公共交通の便利さ	27.6	57.4
21	地域の自然環境の保全	57.7	50.5
22	公園の整備・管理	47.6	43.0
23	ごみの減量、分別とリサイクルの推進	62.8	57.5
24	自然エネルギーの活用	49.3	47.5
25	水道水の供給	79.9	64.4
26	下水道の整備	76.7	61.1
27	農業の振興	51.8	49.2
28	商工業の振興	45.1	46.9
29	企業誘致の推進	36.3	49.0
30	観光の振興	44.5	48.6
31	リニア・三遠南信開通に向けた環境整備	38.4	42.1

<お問い合わせ先>

松川町役場 まちづくり政策課企画調整係

(課長) 下井 (担当) 大橋、林

TEL : 0265-36-7014

FAX : 0265-36-5091

Mail : seisaku@town.matsukawa.lg.jp